

大会長講演

PL1
緩和ケアのこころ 6月30日(金)8:40-9:10
第1会場

座長：所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム）

演者：**緩和ケアのこころ**
下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケア部）

特別講演

SL1
自分の中の多様性をひらく 6月30日(金)11:00-12:00
第1会場

座長：久保 速三（市立奈良病院）

演者：**自分の中の多様性をひらく**
伊藤 亜紗（東京工業大学）

SL2
「自分らしさ」とは何か - 万能薬としての「自分らしさ」の正体 6月30日(金)13:35-14:35
第1会場

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケア部）

演者：**「自分らしさ」とは何か - 万能薬としての「自分らしさ」の正体**
磯野 真穂（東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所）

SL3
ホスピス緩和ケア“5つのエッセンス”そして自力の精神、利他の心ー 6月30日(金)15:20-16:50
第1会場

座長：坂本 雅樹（名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科）

演者：**ホスピス緩和ケア“5つのエッセンス”そして自力の精神、利他の心ー**
志真 泰夫（筑波メディカルセンター病院緩和医療科、日本ホスピス緩和ケア協会）

SL4
がん患者の精神症状緩和のあゆむべき道：「これまで」と「これから」を盟友・森田達也先生と考える 7月1日(土)8:30-10:00
第1会場

座長：森田 達也（聖隷三方原病院）

演者：**がん患者の精神症状緩和のあゆむべき道：「これまで」と「これから」を盟友・森田達也先生と考える**
明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知行動医学分野、
名古屋市立大学病院こころの医療センター / 緩和ケアセンター）

SL5
「孤独な最期」のつくり方。～面会制限は緩和ケアをどう壊したか～ 7月1日(土)13:20-14:20
第1会場

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケア部）

演者：**「孤独な最期」のつくり方。～面会制限は緩和ケアをどう壊したか～**
新城 拓也（しんじょう医院）

SL6
スピリチュアルケア-対話を通して紡ぐケアリング- 7月1日(土)15:05-16:35
第1会場

座長：向井 未年子（愛知県がんセンター）

演者：**スピリチュアルケア-対話を通して紡ぐケアリング-**
田村 恵子（大阪歯科大学医療イノベーション研究推進機構）

海外招待講演

KL1
How do monoamines influence pain processing and modulation オンデマンド配信

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学）

演者：**The role of monoamines: pain modulation**
Kirsty Bannister, PhD (Associate Professor in Neuropharmacology, King's College London)

KL2
Assessment and management of cancer-related fatigue オンデマンド配信

座長：三浦 智史（国立がん研究センター東病院）

演者：**Current Advances in Understanding of Mechanisms, Assessment, and Management of Cancer related fatigue**
Sriram Yennu MD, MS, FAAHPM (Professor in Medicine, Palliative Care & Rehabilitation and Integrative Medicine / The University of Texas MD Anderson Cancer Center)

KL3
Nurse-led holistic multimodal care for cancer cachexia オンデマンド配信

座長：天野 晃滋（大阪大学医学部附属病院 緩和医療センター）

演者：**The role of the nurse in meeting the educational needs of self-care in cachectic cancer patients and caregivers**
Jane B Hopkinson PhD, RN (Velindre Professor of Nursing and Interdisciplinary Cancer Care, Cardiff University, Cardiff, Wales, UK)

KL4
海外における「おひとり様」の緩和ケア オンデマンド配信

座長：梅田 恵（ファミリー・ホスピス株式会社）

演者：**英国における「おひとり様」の緩和ケア**
マクンデ外 仁美（J T MAKUNDE LIMITED）

KL5
Palliative care for children with cancer オンデマンド配信

座長：余谷 暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）

演者：**Pediatric Palliative Care: A Focus on Communication**
Joanne Wolfe, MD MPH (Chief, Department of Pediatrics Massachusetts General Hospital / Professor of Pediatrics, Harvard Medical School)

KL6
Why Don't We Talk About End of Life? オンデマンド配信

座長：千田 恵子（一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会）

演者：**How do we talk about dying?**
Kathryn Mannix MB, BS, FRCP (Medical Writer / Retired Palliative Physician)

KL7
Public health in palliative care オンデマンド配信

座長：浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

演者：**Palliative care during the COVID-19 pandemic in Taiwan**
Shao-Yi Cheng, MD, MSc, DrPH (Professor and Director of the Department of Family Medicine, College of Medicine, National Taiwan University / President of the Taiwan Academy of Hospice Palliative Medicine)

招待講演

IL1 6月30日(金)17:05-18:05
がん患者の治療と仕事の両立支援 第2会場

座長：加来 佐和子（国立がん研究センター中央病院）

演者：治療と仕事の両立支援における課題と心理社会的支援
清水 公一（社会保険労務士事務所Cancer Work-Life Balance、
千葉大学医学部附属病院患者支援部がん相談支援センター）

IL2 6月30日(金)17:05-18:05
緩和ケア従事者が知っておくべきLGBTQsの知識 第11会場

座長：西 智弘（川崎市立井田病院 腫瘍内科）

演者：緩和ケア従事者が知っておくべきLGBTQの知識
吉田 絵理子（一般社団法人にじいるドクターズ、川崎協同病院総合診療科）

IL3 7月1日(土)13:20-14:20
苦や死に向き合う患者・家族との対話とケア 第10会場

座長：田村 恵子（大阪歯科大学医療イノベーション研究推進機構）

演者：日々のいとなみのなかにある対話
ほんま なほ（大阪大学）

教育講演

EL1 6月30日(金)11:00-12:00
オピオイドの副作用対策を見直す 第3会場

座長：余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター）

演者：オピオイドの有害事象～オピオイド誘発性悪心嘔吐/オピオイド投与量に関連する有害事象～
里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院、順天堂大学大学院緩和医療学研究室）

オピオイドの副作用対策：便秘、せん妄など
浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

EL2 6月30日(金)11:00-12:00
終末期の治るせん妄と治らないせん妄-その見分け方とアプローチ- 第4会場

座長：船橋 英樹（宮崎大学医学部附属病院 精神科・緩和ケアチーム）

演者：終末期の治るせん妄と治らないせん妄-その見分け方とアプローチ-
谷向 仁（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻、京都大学医学部附属病院 緩和医療科、
日本サイコオンコロジー学会ガイドライン策定委員会 せん妄小委員会）

EL3 6月30日(金)11:00-12:00
呼吸困難に対する薬物療法を再考する 第11会場

座長：笠原 庸子（県立広島病院薬剤科）

演者：呼吸困難に対する薬物療法を再考する
～“進行性疾患患者の呼吸困難の緩和に関する診療ガイドライン”のなかみ～
山口 崇（神戸大学医学部附属病院 緩和と支持治療科）

EL4 6月30日(金)17:05-18:05
がん患者の突出痛治療を考える 第3会場

座長：小林 孝一郎（黒部市民病院 緩和ケアセンター）

演者：がん患者の突出痛治療を考える
余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター）

EL5 6月30日(金)17:05-18:05
どの職種でも明日からすぐに使える医療者教育のTips 第4会場

座長：野里 洵子（東京医科歯科大学病院）

演者：どの職種でも明日からすぐに使える医療者教育のTips
小杉 俊介（飯塚病院 総合診療科、九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座）

EL6 6月30日(金)17:05-18:05
緩和ケア領域における向精神薬について学ぼう 第5会場

座長：岡本 禎晃（市立芦屋病院）

演者：しくじりから学ぶ!!緩和ケア領域における向精神薬の実践的知識
井上 真一郎（新見公立大学 健康科学部 看護学科）

EL7 6月30日(金)17:05-18:05
信仰を聞く 各宗教における生と死、その後の世界観 第6会場

座長：今井 洋介（長岡西病院 ビハラー病棟）

演者：生と死を見つめる宗教学入門
谷山 洋三（東北大学大学院文学研究科死生学・実践宗教学専攻分野）

EL8 6月30日(金)17:05-18:05
緩和ケアにおける便秘の対応 第10会場

座長：鳥崎 哲平（大腸肛門病センター高野病院）

演者：明日から役立つ便秘症診療の最新知見
結束 貴臣（国際医療福祉大学成田病院、横浜市立大学大学院医学部 肝胆腸消化器病学教室）

EL9 6月30日(金)17:05-18:05
ここまでできる！疼痛緩和のためのIVR～その潜在的な力を知っておこう～ 第12会場

座長：鈴木 梢（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

演者：ここまでできる!疼痛緩和のためのIVR～その潜在的な力を知っておこう～
荒井 保典（国立がん研究センター東病院 放射線診断科）

EL10 7月1日(土)13:20-14:20
患者や家族の「選ぶ」・「決める」・「納得」の裏にあるもの 第5会場

座長：吉田 沙蘭（東北大学大学院 教育学研究科）

演者：患者や家族の「選ぶ」・「決める」・「納得」の裏にあるもの
竹之内 沙弥香（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野）

EL11 7月1日(土)13:20-14:20
デスカンファレンスを考える 第11会場

座長：佐々木 千幸（国立がん研究センター中央病院 看護部）

演者：デスカンファレンスを考える
矢吹 律子（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

特別企画

SS1 6月30日(金)17:05-18:05 第7会場
APHNと日本緩和医療学会の連携の過去・現在・未来
～ホスピス緩和ケアの発展とより公平なアクセスを目指して
【APHN-JSPM合同セッション】

座長：木澤 義之（筑波大学医学医療系）
 竹之内 沙弥香（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野）
 Giam Cheong Leong, Executive Director (MBA, Honors in Engineering)

演者：柏木 哲夫（淀川キリスト教病院）
 木澤 義之（筑波大学医学医療系）
 森 雅紀（聖隷三方原病院）
 Giam Cheong Leong, Executive Director (MBA, Honors in Engineering)

合同シンポジウム

JSY1 6月30日(金)15:20-16:50 第3会場
進行再発がんのAYA世代がん患者の緩和ケアを考える
【一般社団法人 AYAがんの医療と支援のあり方研究会】

座長：樋口 麻衣子（富山AYA世代がん患者会Colors代表、富山大学附属病院 看護部）
 石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

演者：進行再発AYA世代がん患者を地域で支えるために
 西 明博（亀田総合病院 在宅診療科）

進行再発AYA世代がん患者とのかかわりのチャレンジとケアの再考
 栗原 幸江（上智大学グリーンケア研究所、認定NPO法人マギーズ東京、
 がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科）

AYA世代にがんと共に生きる彼らに向けた緩和ケア：コミュニティ型こどもホスピスにおける実践
 津村 明美（認定NPO法人 横浜こどもホスピスプロジェクト）

AYA世代進行再発がん患者の立場から-「私のチーム」と歩むCancer Journey-
 加藤 那津（若年がんサバイバー & ケアギバー集いの場 くまの園）

JSY2 7月1日(土)8:30-10:00 第5会場
第4期がん対策推進基本計画で期待される緩和医療・サイコオンコロジー
～2024合同大会に向けて～
【一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会】

座長：所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム）
 四宮 敏章（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）

演者：わたしたちは何をしてきたのか、そしてこれから何をしていけばよいか：
第4期がん対策推進基本計画を受けて緩和ケアの未来を考える
 永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）

コロナ禍を経てデジタル化が進んだ緩和ケア普及啓発活動の取り組み
 ～現場におけるアナログとの融合、そしてAIが登場する時代に私たちはどう立ち向かうか～
 廣橋 猛（永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター）

誰一人取り残さないがん患者・家族の心のケアにむけて ～第4期がん対策推進基本計画とJPOSの取り組み
 秋月 伸哉（がん・感染症センター 都立駒込病院）

4つの精神・心理ケアガイドラインと未来への展望
 藤澤 大介（慶應義塾大学医学部）

JSY3 7月1日(土)8:30-10:00 第11会場
生きるを支える、症状緩和
【一般社団法人 日本乳癌学会】

座長：鈴木 正寛（NTT東日本関東病院 緩和ケア科・緩和ケアセンター）
 山内 智香子（滋賀県立総合病院）

演者：田根 香織（兵庫県立がんセンター 乳腺外科）
 中村 陽一（東邦大学医学部 臨床腫瘍学講座 緩和医療学分野）
 青山 陽亮（がん研究会有明病院 乳腺内科）
 山本 瀬奈（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
 倉田 明子（広島大学病院 精神科/緩和ケアセンター）

JSY4 7月1日(土)10:15-11:45 第6会場
救急・集中治療における緩和ケアチームの関わりについて考える
【一般社団法人 日本救急医学会/一般社団法人 日本集中治療医学会/一般社団法人 日本循環器学会】

座長：余谷 暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）
 伊藤 香（帝京大学医学部外科学講座Acute Care Surgery部門）

演者：**3学会合同ガイドライン改訂に向けて-日本救急医学会の立場から-**
 渥美 生弘（日本救急医学会 救急医療における終末期医療のあり方に関する委員会、聖隷浜松病院救命救急センター）

「救急・集中治療における終末期医療に関するガイドライン～3学会からの提言」改定のポイント
 ～「3学会」から緩和医療を加えた「4学会のガイドライン」を目指して
 伊藤 香（帝京大学医学部外科学講座Acute Care Surgery部門）

救急・集中治療領域の緩和ケアWPGの活動報告ー緩和ケアチームの手引き追補版の作成ー
 大森 崇史（福岡ハートネット病院）

JSY5 7月1日(土)10:15-11:45 第11会場
様々なGapを埋め「生きる」を応援するアドバンスケアプランニング
【一般社団法人 日本乳癌学会】

座長：木澤 義之（筑波大学医学医療系）
 渡邊 知映（昭和大学）
 濱口 恵子（がん研究会有明病院 トータルケアセンター 患者・家族支援部 サバイバーシップ支援室）

演者：**Bridging the Gap, ACPIに対する患者の期待、希望**
 桜井 なおみ（一般社団法人CSRプロジェクト）

「乳癌とともに生きる」～アドバンスケアプランニング（ACP）の実践と取り組み～
 黒田 貴子（聖マリアンナ医科大学病院 乳腺・内分泌外科）

当院の終末期医療におけるACPの現状と問題点
 毛利 智美（伊賀市立上野総合市民病院外科 乳腺外科）

本人の意思を尊重した医療・ケアを提供するために
-アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を俯瞰し、がん医療における実践を再考する-
 岸野 恵（King's College London）

JSY6 7月1日(土)15:05-16:35 第6会場
在宅医療における専門的緩和ケアのスキルアップを考える
【一般社団法人 日本在宅医療連合学会】

座長：廣橋 猛（永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター）

演者：**在宅緩和医療に携わって感じること**
 河原 正典（岡部医院仙台）

在宅医療に従事しながら、どうやって専門的緩和ケアスキルを習得するか
 清水 政克（医療法人社団 清水メディカルクリニック）

地域で活動する看護師が「在宅緩和ケアの専門的スキルの向上」に必要なことは
 濱本 千春（YMCA訪問看護ステーション・ピース）

在宅緩和ケアの質を高めるために日本在宅医療連合学会が取り組んでいること
谷水 正人（社会医療法人仁友会南松山病院、日本在宅医療連合学会）

シンポジウム

SY1 6月30日(金)9:15-10:45
患者-医療者間のコミュニケーションの充実を目指して 第5会場

座長：秋月 伸哉（がん・感染症センター 都立駒込病院）

演者：コミュニケーションガイドラインと今後求められる研究
藤森 麻衣子（国立がん研究センターがん対策研究所）

オンラインCSTの概要 ～開発経緯と特徴について～
岡澤 林太郎（市立釧路総合病院）

AYA世代がん患者のコミュニケーションの意向とAYA-CST
岡村 優子（国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップTR研究部）

コミュニケーション技術を学ぶ（医師、看護師）
所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム）

SY2 6月30日(金)9:15-10:45
高齢認知症がん患者への緩和ケア 第6会場

座長：梁 勝則（林山クリニック）

演者：認知症をもつ高齢がん患者のケア
小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

認知症担がん患者のBPSD薬物療法について
梁 勝則（林山クリニック）

高齢認知症がん患者への緩和ケア-認知症を知る・安心感を提供する-
桑田 美代子（医療法人社団慶成会青梅慶友病院）

在宅・施設における認知症担がん患者の看護的アプローチ（生活を支える看護）
倉持 雅代（青戸訪問看護ステーション）

SY3 6月30日(金)9:15-10:45
緩和ケアの場で活躍する外科医のためのシンポジウム 第8会場

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケア部）
廣野 靖夫（福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター）

演者：外科専門医であり緩和医療学会専門医が考える外科医が行う緩和ケアの現状と課題
山崎 圭一（ベルランド総合病院）

乳腺外科医、緩和治療医として癌治療の狭間から患者を救うために
山口 慧（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）

地方がん診療拠点病院の緩和ケアチームに携わった外科医師の経験
宮永 太門（福井県立病院 緩和ケアチーム、外科）

SY4 6月30日(金)9:15-10:45
終末期がん患者のADLをあきらめない 第11会場

座長：井上 順一郎（神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター）
宮田 知恵子（独立行政法人国立病院機構東京医療センター）

演者：終末期がん患者のADLをあきらめない～ADLがもつ意味から考える～
島崎 寛将（大阪府済生会富田林病院リハビリテーション科）

終末期がん患者のADLをあきらめない
矢木 健太郎（社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院）

終末期がん患者のADLを支える看護師の役割
西田 章恵（地方独立行政法人 奈良県総合医療センター）

緩和ケアを主体とする時期のがんリハビリテーションの役割と期待
関根 龍一（亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科）

SY5 6月30日(金)11:00-12:00
つぎにつなげる臨床研究～痛みをどう評価するのか～ 第6会場

座長：松本 禎久（公益財団法人がん研究会 有明病院 緩和治療科）

演者：これからがん疼痛の臨床研究をはじめるあなたに～支持療法・緩和治療領域研究ポリシー（各論）がん疼痛～
武井 大輔（地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立がんセンター）

臨床研究における患者報告アウトカム（PRO）と痛みの評価
山口 拓洋（東北大学大学院医学系研究科）

Personalized Pain Goal～痛みの研究で使用する新しい尺度としての可能性～
渡邊 有希（つくばセントラル病院 緩和ケア科）

がん疼痛患者を対象とした非ステロイド性消炎鎮痛薬貼付剤の継続投与の有効性と安全性を検証した無作為化二重盲検
プラセボ対照比較試験を経験して
山口 重樹（獨協医科大学）

SY6 6月30日(金)13:35-15:05
緩和ケア領域で「よさそうなこと」を現場に実装していくために 第2会場

座長：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科）

演者：緩和ケア領域において実装研究を遂行するために
全田 貞幹（国立がん研究センター東病院 支持緩和研究開発支援室）

「患者さんにとっていいと思うこと」が現場に定着していくということ
森田 達也（聖隷三方原病院）

「よさそうなこと」を共有するということ
川口 崇（東京薬科大学 医療実務薬学教室、東北大学大学院 医学統計学分野）

SY7 6月30日(金)13:35-15:05
社会的・人文的視点で病院・緩和ケアを見つめなおす 第3会場

座長：木内 大佑（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院）

演者：医療の檻の外から緩和ケアを見つめてみる
新城 拓也（しんじょう医院）

緩和ケアの発展と暮らしの保健室
西 智弘（川崎市立井田病院 腫瘍内科）

緩和ケアが架ける橋 ～医療から「社会性・関係性」に基づくケアへ～
神谷 浩平（一般社団法人MY wells地域ケア工房）

SY8 6月30日(金)13:35-15:05
遺族ケアの今と未来
-遺族ケアガイドラインとその先- 第5会場

座長：坂口 幸弘（関西学院大学人間福祉学部人間科学科）
市原 香織（淀川キリスト教病院）

演者：遺族ケアガイドラインの開発
松岡 弘道（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、支持療法開発部門）

臨床疑問1：遺族の心のケアとしての非薬物療法の有効性について
竹内 恵美（国立がん研究センターがん対策研究所、国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科）

がん等の身体疾患で死別した遺族の精神的苦痛に対する向精神薬の投与について
蓮尾 英明（関西医科大学心療内科学講座）

今後の改定に向けて一遺族の心的外傷後成長に関する研究の観点から
近藤 めぐみ (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

SY9 6月30日(金)13:35-15:05
がん治療から終末期までの、口腔トラブルの緩和ケア 第11会場

座長：上野 尚雄 (国立がん研究センター中央病院)
富塚 健 (公益財団法人 がん研究会有明病院)

演者：がん治療における看護師の視点から考える口腔ケアのニーズ
妻木 浩美 (静岡県立静岡がんセンター)

がん治療に伴う口腔粘膜炎に対するサポートケア～患者のモチベーションとアドヒアランス向上を目指して～
江戸 美奈子 (独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター)

人生の最終段階における口腔ケアの質と効果向上を目指して
下郷 麻衣子 (独立行政法人 国立病院機構京都医療センター)

がん治療から終末期にわたる口腔管理の重要性
山崎 知子 (埼玉医科大学国際医療センター頭頸部腫瘍科)

SY10 6月30日(金)13:35-15:05
私達はどのようにキャリア選択を行ってきたか 第12会場

座長：日下部 明彦 (横浜市立大学医学部医学科 総合診療医学)
藤原 由佳 (NPO法人神戸なごみの家/訪問看護ステーションあさんて・はな)

演者：僻地医療と育児と自己研鑽の継続の壁
松本 衣里 (医療法人社団 孔和会 松本内科・眼科)

私のキャリア選択と看護管理者としてのキャリア支援
關本 翌子 (国立がん研究センター中央病院)

米国での勤務経験と緩和ケア専門研修から、キャリア選択と日本の医療者教育を考える
百武 美沙 (慶應義塾大学医学部)

SY11 6月30日(金)13:35-15:05
緩和ケアにおけるポリファーマシー 第13会場

座長：山本 泰大 (小牧市民病院 薬局)

演者：がん薬物療法におけるポリファーマシー
長島 文夫 (杏林大学医学部腫瘍内科)

ポリファーマシーへの取り組み 一薬剤師の立場から
木村 丈司 (神戸大学医学部附属病院)

がん終末期のポリファーマシー ～医師の立場から～
舩本 祥一 (筑波大学医学医療系地域総合診療医学講座/つくばセントラル病院総合診療科)

SY12 6月30日(金)15:20-16:50
研究初心者のための Tips and Tricks—ヒントとコツ 第2会場

座長：川島 有沙 (名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻)

演者：緩和ケア領域で利用されている研究デザイン～統計家の立場から、あれやこれやをざっくりと～
小山田 隼佑 (NPO法人JORTC データセンター 統計部門)

思いついたクリニカルクエスチョンを実現可能な臨床研究に落とし込む方法
小杉 和博 (国立がん研究センター東病院 緩和医療科)

緩和ケア病棟で多施設共同ランダム化比較試験を実施することになった私が感じるヒントとコツ
西山 菜々子 (大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究所)

看護師が気づいたら自然言語処理をやっていた!?
升川 研人 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)

SY13 6月30日(金)15:20-16:50
終末期ケアエビデンスUp To Date 第5会場

座長：松沼 亮 (オリブ山病院)

演者：あなたのその予測、あたっていますか?
猪狩 智生 (東北大学病院 緩和医療部)

実践に活かす!終末期の看護実践に関するエビデンス
青木 美和 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 博士後期課程)

緩和薬物療法エビデンスのアップデート：インパクトのある研究を緩和ケアの臨床に活かす
飯田 真之 (神戸大学医学部附属病院)

SY14 6月30日(金)15:20-16:50
腫瘍学と在宅緩和ケアの統合 第6会場

座長：平本 秀二 (ピースホームケアクリニック)
熊谷 靖代 (野村訪問看護ステーション)

演者：緩和ケアセンターからみた腫瘍学と在宅緩和ケアの統合
坂下 明大 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

がん治療と在宅緩和ケアの二人主治医制～在宅側はどのように立ち振る舞えば良いか論ずる～
廣橋 猛 (永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター)

大学病院外来看護におけるアドバンス・ケア・プランニング
角 裕子 (京都大学医学部附属病院 看護部)

地域における緩和ケアと腫瘍学の統合 訪問看護の立場から
熊谷 靖代 (野村訪問看護ステーション)

SY15 6月30日(金)15:20-16:50
致死性慢性疾患患者の心理過程、病気の受容や対処行動 第12会場

座長：阪本 亮 (近畿大学病院 がんセンター 緩和ケアセンター)

演者：呼吸器疾患患者の心理過程と支援
松田 能宣 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター)

心不全患者の心理過程と支援
大石 醒悟 (医療法人社団 まほし会 真星病院 循環器内科)

神経難病患者の心理過程と病気の受容と対処
荻野 美恵子 (国際医療福祉大学市川病院神経難病センター、国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター)

慢性腎臓病患者の心理過程と支援～サイコネフロジーの視点から～
大武 陽一 (たけお内科クリニック からだと心の診療所、水谷クリニック)

SY16 6月30日(金)17:05-18:05
緩和ケアにも活かす公衆衛生的観点 第13会場

座長：平塚 裕介 (竹田総合病院緩和医療科/東北大学大学院緩和医療学分野)

演者：公衆衛生的な課題解決アプローチ
大屋 清文 (ピースホームケアクリニック)

公衆衛生的観点から見た非がん疾患の緩和ケア
中西 絵里香 (東北大学大学院 医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)

アドバンス・ケア・プランニングを俯瞰視する取り組み
室谷 佐紀 (聖路加国際大学公衆衛生大学院)

SY17 7月1日(土)8:30-10:00
緩和ケアが中心となった時期における消化管内視鏡/IVRの適応を考える 第2会場

座長：坂本 雅樹（名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科）

演者：**抗がん治療終了後の消化管内視鏡/IVR=緩和ケア医の視点から=**
 五十嵐 佑子（神戸大学医学部附属病院緩和治療科）

緩和ケアが中心となった時期における消化管悪性狭窄に対するステント治療
 石原 誠（安城更生病院 消化器内科）

消化器症状に対する緩和IVR：何ができるの？

佐藤 洋造（がん研有明病院 超音波診断・IVR部、愛知県がんセンター 放射線診断・IVR部）

SY18 7月1日(土)8:30-10:00
これからの在宅緩和ケアにおける研究&教育をどうしてゆくか？ 第4会場

座長：大屋 清文（ピースホームケアクリニック）
 玉木 朋子（滋賀医科大学）

演者：**がん治療中からの在宅緩和ケアの可能性を探る**
 東端 孝博（筑波大学附属病院 緩和治療科）

一般市民を対象に人生会議を支援する取り組み

辻川 真弓（鈴鹿医療科学大学看護学部、三重大学名誉教授）

教育と研究における地域包括ケアと経営学の間

平本 秀二（ピースホームケアクリニック）

在宅緩和ケアの質の評価とこれからの薬局薬剤師の教育について

小林 篤史（カリン薬局）

SY19 7月1日(土)8:30-10:00
看護ケアの最新エビデンス UP TO DATE 第6会場

座長：佐藤 一樹（名古屋大学）

演者：**身体症状に対する看護ケアの最新エビデンスUP TO DATE**
 角甲 純（三重大学）

精神症状・心理的問題に関する看護ケアの最新エビデンスup to date

清水 陽一（国立看護大学校）

看護ケアのエビデンスUP TO DATE：疫学研究・調査研究

青山 真帆（東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）

SY20 7月1日(土)8:30-10:00
周産期の緩和ケア 第10会場

座長：古橋 知子（福島県立医科大学 看護学部/附属病院 看護部）
 名古屋 祐子（宮城大学 看護学群 小児看護学領域）

演者：**周産期の緩和ケア 産科の立場から**

木原 智子（兵庫県立こども病院）

周産期の緩和ケア ー新生児医療での課題とあり方ー

上田 一仁（名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 新生児部門）

周産期緩和ケアの取り組み～胎児期からの緩和ケアとの協働の可能性について考える～

余谷 暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）

SY21 7月1日(土)8:30-10:00
YA世代の患者のACP、どこで誰とどのように過ごしたいのかー地域連携におけるポイントー 第12会場

座長：稲田 修士（近畿大学医学部内科学教室心身医学部門）
 柳場 美穂（静岡県立静岡がんセンター）

演者：**YA世代のレジリエンスを高める意思決定支援**

泊 由布子（国立病院機構九州がんセンター）

YA世代の患者の意思決定支援～家族ケアを中心に～

竹内 麻理（慶應義塾大学医学部 緩和ケアセンター、精神・神経科）

制度のはざまにあるYA世代の生活を支援する

坂本 はと恵（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院）

YA世代の患者の生活を感じながら行う在宅医療におけるACP

渡邊 紘章（在宅緩和ケア あすなる医院）

SY22 7月1日(土)10:15-11:45
緩和ケア普及啓発の地域展開-行政・拠点病院・地域社会の取り組みを活かす- 第1会場

座長：品田 雄市（東京医科大学八王子医療センター）
 小野田 千晴（焼津市立総合病院 薬剤部）

演者：**施策としての緩和ケア普及啓発の立案・評価手法をどうデザインするか？**

采野 優（京都大学医学部附属病院 腫瘍内科）

おカネを動かすのはデータ、ヒトを動かすのは興味・情熱・成功体験

～今、ここで、私ができる、次の一歩を考える～

田中 桂子（がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科）

地域や患者さんの「お役に立てる」緩和ケアで在るために、“病院”、“地域”、“住民”へのアプローチ方法を再考しよう！

田上 恵太（東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野、やまと在宅診療所登米、徳之島徳洲会病院 緩和ケアチーム）

トレーニングサイトとしての緩和ケア部門運営を通じて普及啓発に貢献する

柏木 秀行（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

SY23 7月1日(土)10:15-11:45
緩和ケアにおける自殺と希死念慮 第2会場
～自殺を防ぎ、対処するために医療者は何をすべきか～

座長：明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知行動医学分野、名古屋市立大学病院こころの医療センター/緩和ケアセンター）
 藤森 麻衣子（国立がん研究センターがん対策研究所）

演者：**がん患者の自殺の疫学**

原島 沙季（東京大学医学部附属病院 心療内科、国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップTR研究部）

自殺リスクが高いことは分かっているけれど ～がん患者の自殺リスク因子を理解し、アセスメントの実際を考える～

和田 佐保（日本医科大学精神医学教室・多摩永山病院精神神経科）

緩和ケアにおける希死念慮への対応と危機介入

岡島 美朗（自治医科大学附属さいたま医療センター）

がん患者の自殺後のポストベンション（事後対応）：特にスタッフのケアを中心に

明智 龍男（名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知行動医学分野、名古屋市立大学病院こころの医療センター/緩和ケアセンター）

SY24 7月1日(土)10:15-11:45
緩和ケアに従事する医療スタッフの精神心理的健康を維持する 第3会場

座長：浅井 真理子（日本医科大学医療心理学教室）

演者：**緩和ケア病棟スタッフへの精神心理的サポートのあり方：14年間の活動の分析を通して**

広瀬 寛子（戸田中央総合病院）

マインドフルネスとコンパッションに基づくストレス・燃えつき低減プログラム：MaHALO program

藤澤 大介（慶應義塾大学医学部）

緩和ケアにおける心理コンサルテーションと医療スタッフのメンタルヘルス不調の予防の取り組み

平井 啓（大阪大学大学院人間科学研究科）

SY25 7月1日(土)10:15-11:45 第7会場

座長：川股 知之（和歌山県立医科大学）

演者：骨転移の薬物療法における薬剤師の関わりについて

松坂 和正（埼玉県立がんセンター）

有痛性骨転移に対する集学的治療における放射線療法の意義

中村 直樹（聖マリアンナ医科大学 放射線治療科）

骨転移診療におけるリハビリテーション治療の役割と多職種連携

井上 順一郎（神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター）

骨転移痛のある患者の希望を支えるケア～緩和ケアチーム看護師の立場から～

黒澤 亮子（東邦大学医療センター大森病院 看護部、緩和ケアセンター）

骨転移の診療における多職種の連携 医師の立場から

内藤 明美（宮崎市医師会病院）

SY26 7月1日(土)13:20-14:20 第6会場

座長：岸本 寛史（静岡県立総合病院）

演者：ナラティブ・メディスン：感性のアンテナを磨く実践メソッド

栗原 幸江（上智大学グリーンケア研究所、認定NPO法人マギース東京、がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科）

ナラティブの多面性と可能性：傾聴する、調停する、介入する

宮坂 道夫（新潟大学大学院保健学研究科）

パネルディスカッション

PD1 6月30日(金)9:15-10:45 第1会場

がん医療・ケアにおけるPatient and Public Involvement(PPI:患者市民参画)

座長：有賀 悦子（帝京大学医学部緩和医療学講座）

轟 浩美（認定NPO法人 希望の会）

演者：患者・市民参画をめぐる現状と課題

武藤 香織（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野）

PPI（患者市民参画）の現状と期待

天野 慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会）

がん研究におけるPPI推進の医療者のニーズ・課題について

片山 佳代子（国立大学法人群馬大学情報学部、神奈川県立がんセンター臨床研究所）

患者・市民と共にがん研究を推進していくための患者・市民向け教育カリキュラム開発

有賀 悦子（帝京大学医学部緩和医療学講座）

PD2 6月30日(金)9:15-10:45 第2会場

終末期の低血糖発作への対応

座長：本間 英之（新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科）
向井 未年子（愛知県がんセンター）

演者：終末期の低血糖発作への対応：低血糖を積極的には対応しない立場

加藤 恭郎（天理よろづ相談所病院 緩和ケア科）

終末期がん患者が低血糖発作に対して血糖補正を希望した時

小田切 拓也（揖斐厚生病院 緩和ケア科）

終末期の低血糖発作への対応をめぐる臨床倫理

竹下 啓（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域）

PD3 6月30日(金)9:15-10:45 第3会場

複雑な社会的背景を持つ患者のACP—病院、在宅医療それぞれの立場から—

座長：宇野 さつき（ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス）
橋本 孝太郎（ふくしま在宅緩和ケアクリニック）

演者：複雑な社会的背景をもつ患者 × ACP入門

橋本 孝太郎（ふくしま在宅緩和ケアクリニック）

地域でつむACPのチャンス—一般病院だからできる最期の提案

柳原 恵梨（特定医療法人谷田会 谷田病院）

ACPを通じて患者の価値観について理解を深め、多職種で共有し支援するために

御牧 由子（静岡県立静岡がんセンター）

複雑な社会的背景を持つ患者のACPに対する看護師の視点

徳谷 理恵（ピースホームケアクリニック）

PD4 6月30日(金)9:15-10:45 第4会場

緩和ケアにマインドフルネスとコンパッションをどう活かすか？

座長：笹良 剛史（社会医療法人友愛会豊見城中央病院 全人的痛みセンター）
藤澤 大介（慶應義塾大学医学部）

演者：緩和ケア領域におけるアクセプタンス&コミットメント・セラピー（ACT）の可能性

-乳がんサバイバーの術後遅延痛と再発恐怖に焦点をあてて-

酒井 美枝（名古屋市立大学大学院 医学研究科 麻酔科学・集中治療医学、名古屋市立大学病院いたみセンター）

大切な人を亡くした人々を対象としたコンパッションに焦点を当てたオンライン心理療法：実施可能性試験

采野 優（京都大学医学部附属病院 腫瘍内科）

臨床での「いま・ここ」への気づきの活かし方

土屋 静馬（昭和大学医学教育講座・内科）

今ここで、患者と向き合い、コンパッションによりケアする

朴 順禮（慶應義塾大学看護医療学部・同大学病院緩和ケアセンター）

PD5 6月30日(金)9:15-10:45 第10会場

緩和ケア×リエゾンチーム～精神疾患のある患者を支える～

座長：五十嵐 江美（東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、東北大学病院 精神科）

演者：精神科リエゾンチームのハードルと今後の課題について考える

佐伯 吉規（がん研有明病院 緩和治療科）

東北大学病院における緩和ケアチームと精神科リエゾンチームの連携

五十嵐 江美（東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、東北大学病院 精神科）

緩和ケアチームと共に患者を支える～リエゾンチームの看護師の立場から～

須賀原 教子（京都大学医学部附属病院看護部、精神科リエゾンチーム）

医療チームで患者さんと家族へよりよい支援するために

伊藤 嘉規（名古屋市立大学病院）

PD6 6月30日(金)11:00-12:00
緩和ケアの専門性って何なの? Complexityという考え方 第5会場

座長：宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野）

演者：緩和ケアにおけるComplexity（複雑性）とは何か
 大日方 裕紀（北海道大学大学院保健科学研究所）

ホスピスの現場で緩和ケアの複雑性complexityを考える
 前田 一石（医療法人協和会 千里中央病院）

PD7 6月30日(金)11:00-12:00
専門家が関わっていない鎮静の安全性を高めるために緩和ケアチームができること 第10会場

座長：櫻井 宏樹（虎の門病院緩和医療科）

演者：一般病棟での鎮静に関して緩和ケアチームができること～臨床医の立場から～
 長岡 広香（がん・感染症研究センター都立駒込病院）

薬物使用の際の法的な配慮と、倫理コンサルテーション
 稲葉 一人（いなば法律事務所）

PD8 6月30日(金)13:35-15:05
緩和ケア病棟でがん以外の疾患に対応できるのか 第4会場

座長：池永 昌之（淀川キリスト教病院 緩和医療内科）

演者：緩和ケア病棟に関わって考えている事
 河原 正典（岡部医院仙台）

地域医療従事者の立場より、緩和ケア病棟の役割拡大に期待すること
 船越 政江（医療法人社団林山朝日診療所 訪問看護・リハビリステーションわたぼうし）

非がん疾患の緩和ケアを行う上での障壁
 石上 雄一郎（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

緩和ケア病棟の入棟対象拡大に応える 一看護管理の視点から～
 柏谷 優子（辻仲病院柏の葉）

PD9 6月30日(金)13:35-15:05
ケミカルコーピングについて考える 第6会場

座長：山口 重樹（獨協医科大学）
 渡壁 晃子（彩都友誼会病院）

演者：ケミカルコーピングについて考える ～緩和ケア医の立場から～
 谷口 彩乃（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）

ケミカルコーピングの背景に目を向ける
 ～患者が鎮痛薬を適切に使用するために求められる看護師の役割～
 中條 庸子（東北大学病院 緩和ケアセンター）

医療用麻薬の適正使用とは?ケミカルコーピングと偽依存
 龍 恵美（長崎大学病院 薬剤部/緩和ケアセンター）

ケミカルコーピングについて考える ～公認心理師の視点から
 武村 尊生（東北福祉大学 総合福祉学部福祉心理学科、獨協医科大学 医学部麻酔科学講座）

PD10 6月30日(金)13:35-15:05
がん薬物療法による皮膚障害のケア 第10会場

座長：市川 智里（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 看護部）

演者：がん薬物療法に伴う皮膚障害対策：医師の立場から考えるアセスメントとケアについて
 平川 聡史（聖隷浜松病院）

皮膚障害に対する薬剤師の役割
 笠原 庸子（県立広島病院薬剤科）

がん薬物療法による皮膚障害のケアにおける看護師の役割
 藤川 直美（石川県立中央病院）

PD11 6月30日(金)15:20-16:50
患者力を身体症状マネジメントにつなげる 第11会場

座長：小杉 寿文（佐賀県医療センター好生館）
 東 光久（奈良県総合医療センター総合診療科）

演者：患者力のがん医療における第3の柱である
 東 光久（奈良県総合医療センター総合診療科）

薬剤師の視点からPEPを活用した身体症状マネジメントにつなげるための工夫
 小室 雅人（国立国際医療研究センター 薬剤部）

患者のセルフマネジメントスキル向上のためにリハビリテーション療法士が担う役割とポイント
 立松 典篤（名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻）

「悪い結果は聞きたくない」と告知を拒否する患者の患者力向上～医療情報を知りたくない患者は理解力がないのか～
 長谷川 友美（奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター）

PD12 6月30日(金)17:05-18:05
患者を護るあたらしい手と目:非接触型モニタリングを用いた終末期ケアへの期待と展望 第8会場

座長：福井 小紀子（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究所 在宅・緩和ケア看護学分野）
 前田 一石（医療法人協和会 千里中央病院）

演者：より良いケアを負担なく届けるためにテクノロジーを用いる
 今井 堅吾（聖隷三方原病院 ホスピス科）

終末期がん患者における死亡までのバイタルサインの変動に関する検討：センシング機器による予後予測の可能性
 田中 晴佳（神戸市看護大学）

機器で捉えられた終末期がん患者のベッド上の体動と疼痛の関係から、実践への活用の可能性を考える
 樋上 容子（大阪医科薬科大学）

PD13 7月1日(土)8:30-10:00
高齢者の痛みのかえを聴き生活を支える 第3会場

座長：小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）
 桑田 美代子（医療法人社団慶成会青梅慶友病院）

演者：プライマリ・ケアにおける高齢者の痛みへのアプローチ
 許 智栄（ともクリニック）

高齢者の不動の痛みについて
 高道 香織（国立病院機構医王病院）

加齢による薬物動態の変化とポリファーマシーについての情報共有
 佐藤 哲（静岡県立静岡がんセンター）

痛みを有する高齢がん患者の生活を支えるために～作業療法士の立場から～
 沓岐尾 優太（日本赤十字社長崎原爆病院、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）

PD14 7月1日(土)10:15-11:45
緩和ケアにおける適応外使用・院内製剤を考える 第4会場

座長：萬谷 摩美子（医療法人愛和会 愛和病院）
 加賀谷 肇（湘南医療大学薬学部）

演者：適応外使用・院内製剤の可能性と課題 ～処方医の経験から～
 的場 康徳（鹿児島大学大学院 腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学）

在宅で生活するがん患者とその家族の、最期まで生き生きの希望に寄り添うということ
 ～がんの進行に伴う苦痛症状への対応～
 渡邊 真理子（医療法人愛和会 訪問看護ステーション愛和）

院内製剤から製品化における一歩を踏む例に
田口 真穂（横浜薬科大学 薬学部 臨床薬学科 レギュラトリーサイエンス研究室）

治療困難な時の対応を考える一院内薬局製剤の使用と留意点
伊東 俊雅（東京女子医科大学附属足立医療センター薬剤部/がん包括診療部緩和ケア室）

PD15 在宅緩和ケアを活かすために必要な制度上の理解と課題
-病院と地域の緩和ケア連携-

7月1日(土)10:15-11:45
第5会場

座長：渡邊 紘章（在宅緩和ケア あすなろ医院）

演者：病棟と在宅の間に立ちほだかる障壁
大坂 巖（社会医療法人石川記念会HITO病院 緩和ケア内科、岡山大学病院緩和ケア支援医療科）

在宅緩和ケアを展開するための課題
濱本 千春（YMCA訪問看護ステーション・ピース）

在宅緩和ケアにおける薬局薬剤師の活動と課題
村井 扶（株式会社ゆそえる あけぼの薬局）

医療で成長した緩和ケアを肯定的にとらえつづけるために
横山 太郎（横山医院 在宅・緩和クリニック）

PD16 悪性腹水、扱いちゃダメなの？

7月1日(土)10:15-11:45
第10会場

座長：横道 直佑（聖隷三方原病院 緩和ケア診療科）

演者：悪性腹水に対する腹腔穿刺の安全な実施に向けて
伊藤 哲也（東京大学医科学研究所附属病院 先端緩和医療科）

CART
横道 直佑（聖隷三方原病院 緩和ケア診療科）

悪性腹水のガラバゴス医療
石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

悪性腹水、現場ではどうする？
坂本 雅樹（名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科）

PD17 緩和ケアでの人工的栄養水分補給

7月1日(土)10:15-11:45
第12会場

座長：中島 信久（琉球大学病院 地域・国際医療部 緩和ケアセンター）
築山 郁人（名城大学 薬学部）

演者：がん終末期における輸液栄養治療 -ガイドラインに基づいた介入の効果
中島 信久（琉球大学病院 地域・国際医療部 緩和ケアセンター）

人工的栄養水分補給の中止をめぐる倫理的課題への対応
多田羅 竜平（大阪市立総合医療センター）

進行がん患者の人工的栄養水分補給についての緩和ケアでの考え方
荒川 さやか（国立がん研究センター中央病院）

患者・家族の輸液に対する思いをケアに反映する ～看護師の立場から～
向井 未年子（愛知県がんセンター）

PD18 せん妄存在下での疼痛緩和の困難さとその対応

7月1日(土)13:20-14:50
第4会場

座長：谷向 仁（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻、京都大学医学部附属病院 緩和医療科）
川崎 優子（兵庫県立大学看護学部）

演者：せん妄存在下での疼痛緩和の課題
貞廣 良一（国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科）

せん妄存在下での疼痛緩和の困難さとその対応：急性期病棟の緩和ケアチームの視点から
坪井 理恵（名古屋大学医学部附属病院）

終末期のせん妄存在下での痛みをどう捉えるか：緩和ケア病棟での課題と実践
山代 亜紀子（洛和会音羽病院 緩和ケア内科）

せん妄存在下での疼痛緩和の困難さとその対応：看護の視点から考える
菅野 雄介（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究所 在宅・緩和ケア看護学分野）

PD19 心不全の緩和ケアは普及しているのか

7月1日(土)13:20-14:50
第13会場

座長：柏木 秀行（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

演者：心不全緩和ケアの現在地：循環器内科医の視点から
柴田 龍宏（久留米大学病院 高度救命救急センター CCU、久留米大学医学部内科学講座心臓・血管内科部門）

心不全緩和ケアの現状を把握し、地域包括ケアへの実装施策を考える
大森 崇史（福岡ハートネット病院）

緩和ケアセンターにおける心不全患者への支援
久理田 和代（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）

地域診療所における心不全の意思決定支援のための試み
弓野 大（医療法人社団ゆみの）

PD20 精神心理的苦痛を評価する

7月1日(土)15:05-16:35
第10会場

座長：清水 研（がん研究会 有明病院）
竹久 志穂（近畿大学病院）

演者：治療医が精神心理的苦痛に気付くために大切なこと
菅野 康二（順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 呼吸器内科・緩和ケアチーム）

精神心理的苦痛を評価する ～精神看護専門看護師としての～
佐々木 千幸（国立がん研究センター中央病院 看護部）

苦痛の評価を「定性」と「定量」で整理する。
榎戸 正則（国立がん研究センター東病院）

精神心理的苦痛を評価するために心理職が行っていること
茅野 綾子（国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院）

PD21 どうしようもない会陰部痛・肛門痛の治療戦略

7月1日(土)15:05-16:35
第11会場

座長：瀧川 千鶴子（KKR札幌医療センター）
長澤 昌子（岩手医科大学附属病院 高度看護研修センター）

演者：難治性会陰部痛・肛門痛：IVRで何が出来る？
佐藤 洋造（がん研有明病院 超音波診断・IVR部、愛知県がんセンター 放射線診断・IVR部）

どうしようもなくなる前に陰部・肛門部腫瘍に対する放射線治療はどうか？
萬 篤憲（国立病院機構東京医療センター）

薬物療法、上下腹神経叢ブロック、不對神経節ブロック、仙骨硬膜外エタノール注入法
佐藤 哲親（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）

どうしようもない会陰部痛・肛門痛の治療戦略～インターベンショナル治療～
小杉 寿文（佐賀県医療センター好生館）

PD22 7月1日(土)15:05-16:35
がん悪液質のもたらす苦痛をどうマネジメントするか 第12会場

座長：森 直治（愛知医科大学医学部大学院医学研究科 緩和・支持医療学）
毛利 貴子（京都府立医科大学大学院保健看護学研究科）

演者：がん悪液質がもたらす食の苦悩に対する管理栄養士の役割
上島 順子（NTT東日本関東病院）

がん支持療法の新時代～がん悪液質治療に薬剤師ができること～
藤井 宏典（岐阜大学医学部附属病院）

がん薬物療法を受ける進行がん患者のがん悪液質の苦痛
佐藤 理佳（静岡県立静岡がんセンター、聖路加国際大学大学院看護学研究科）

がん悪液質で苦しむ患者と家族へのホリスティックマルチモーダルケアの開発への取り組み
天野 晃滋（大阪大学医学部附属病院 緩和医療センター）

ワークショップ

WS1 6月30日(金)9:15-10:45
オンラインセミナーのHow to 第7会場

座長：永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）

演者：**オンライン講演 演者はここを意識するとグッと良くなる**
山口 健也（地域医療機能推進機構 九州病院）

参加者が退屈しないオンラインセミナーとは?!
清水 佐智子（鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻）

オンライン研修開催へ向けた取り組みへの工夫と課題
前浦 米子（京都大学医学部附属病院）

オンラインセミナー（OS）について語るときにわたしたちが語ること
永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）

WS2 6月30日(金)9:15-10:45
緩和ケアの臨床に高流量鼻カニューラ酸素療法を活かす 第12会場

座長：長谷川 貴昭（名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター）
角甲 純（三重大学）

演者：**呼吸困難に対する症状緩和治療における酸素療法の位置づけと高流量鼻カニューラ酸素療法への期待**
長谷川 貴昭（名古屋市立大学病院 緩和ケアセンター）

がんと非がん性呼吸器疾患の呼吸困難緩和のためのHFNCのエビデンスと使用経験
秋本 聡（公立陶生病院 緩和ケア内科、呼吸器・アレルギー疾患内科）

緩和ケア病棟における高流量鼻カニューラ酸素療法（HFNC）使用経験から、その位置づけを考える
鈴木 梢（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科）

高流量鼻カニューラ酸素療法（HFNC）の管理のコツと実際の看護ケア
梶本 聡（岐阜市民病院）

WS3 6月30日(金)15:20-16:50
がん患者に神経ブロックを適切に提供するために我々がすべきこと
～地域連携・アクセスを考える 第4会場

座長：山代 亜紀子（洛和会音羽病院 緩和ケア内科）
森 直美（地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館）

演者：**難治性がん疼痛に対する神経ブロックの実施状況と障壁：全国質問紙調査から**
上原 優子（順天堂大学医学部附属浦安病院がん治療センター緩和ケアチーム、順天堂大学医学部緩和医療学研究室）

神経ブロックの地域連携とアクセス ～筑波メディカルセンター病院における連携と障壁～
下川 美穂（筑波メディカルセンター病院 緩和医療科、つくばセントラル病院 緩和ケア科）

京都府でがん患者に神経ブロックを提供するための私たちの取り組み
大西 佳子（京都市立病院）

静岡県西部でがん患者に神経ブロックを提供するための私たちの取り組み
山田 博英（総合病院聖隷浜松病院）

WS4 6月30日(金)15:20-16:50
苦痛を伴うケアをいつまでするか:実践者に聞いてみよう! 第10会場

座長：關本 翠子（国立がん研究センター中央病院）
松田 良信（市立芦屋病院緩和ケア内科）

演者：**超高齢者の擁護者として医療・ケアのあり方を考える**
西山 みどり（有馬温泉病院）

急性期病棟における身体的苦痛やADLが低下した進行がん患者の抗がん治療支援
林 爽り子（横浜市立大学 医学部 看護学科 がん看護学、藤沢湘南台病院 看護部）

苦痛を伴うケア・処置をいつまでするか～在宅医療での実際
清水 政克（医療法人社団 清水メディカルクリニック）

WS5 7月1日(土)8:30-10:00
入院中のオピオイド自己管理へ向けた取り組み 第7会場

座長：佐藤 淳也（湘南医療大学薬学部）
川村 三希子（札幌市立大学看護学部）

演者：**入院中のオピオイド自己管理へ向けた取り組み-がん疼痛治療の看護の視点から-**
高橋 紀子（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター）

オピオイド自己管理における院内マニュアル作成と今後の課題
田中 怜（湘南医療大学 薬学部 医療薬学科）

オピオイド自己管理への取り組み —医療安全と運用の簡便さのバランスを模索する—
相木 佐代（独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 緩和ケア内科）

入院中のオピオイド自己管理に向けた取り組み～セルフマネジメント支援の視点から～
山中 政子（天理大学）

WS6 7月1日(土)15:05-16:35
コロナによる分断を乗り越える-つながりを取り戻すための奮闘- 第5会場

座長：安保 博文（六甲病院）
風間 郁子（筑波大学附属病院 看護部）

演者：**「コロナによる分断を乗り越える-つながりを取り戻すための奮闘-」～緩和ケア病棟の立場から～**
岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）

コロナ禍で見えてきた在宅医療の「ふれあい」や「つながり」
田代 真理（聖路加国際大学看護リカレント 教育部/悠翔会在宅クリニック新橋）

コロナ禍を通してホスピス緩和ケアを見直す
池永 昌之（淀川キリスト教病院 緩和医療内科）

委員会企画

CM1 6月30日(金)9:15-10:45
緩和医療における診療報酬 第13会場
 ～現場の課題抽出、エビデンス構築、診療報酬化、実装までの道筋を探る～
【健康保険・介護保険委員会】

座長：石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

演者：**日常診療からの声を診療報酬に反映する道のり**
 石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

緩和医療に係る診療報酬について
 原澤 朋史（厚生労働省健康局がん・疾病対策課）

緩和医療における診療報酬～看護の視点から
 關本 翌子（国立がん研究センター中央病院）

緩和医療における診療報酬-日本ホスピス緩和ケア協会の取り組みについて-
 中橋 恒（松山ペテル病院）

CM2 6月30日(金)13:35-15:05
高齢者の安全・感染管理と倫理-何を実践できるのか考えよう- 第7会場
【安全・感染委員会】

座長：栗原 美穂（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院）
 清水 陽一（国立看護大学校）

演者：**オピオイド投与の際の注意点**
 石木 寛人（国立がん研究センター中央病院）

高齢COVID-19患者における治療方針決定プロセスを振り返る
 森岡 慎一郎（国立国際医療研究センター病院）

高齢者の転倒予防を目的としたフレイルに対するリハビリテーション医療
 原田 剛志（国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 リハビリテーション科、
 慶應義塾大学大学院 医学研究科 リハビリテーション医学教室）

CM3 6月30日(金)13:35-15:05
日本緩和医療学会の広報活動を考える:集まれアンバサダー! 第8会場
【広報委員会】

座長：永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和医療内科）
 林 糸り子（横浜市立大学 医学部 看護学科 がん看護学、藤沢湘南台病院 看護部）

演者：**日本緩和医療学会広報委員会によるSNSを用いた広報戦略、そして学術大会におけるTwitterアンバサダーの取り組み**
 廣橋 猛（永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター）

緩和ケアの広報活動を考える 一みんなに心地よく、記憶に残って、ためになる一
 相木 佐代（独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 緩和ケア内科）

インターネット上の様々なツールを用いた情報発信について～緩和医療学会への提言～
 大武 陽一（たけお内科クリニック からだと心の診療所、水谷クリニック）

CM4 6月30日(金)15:20-16:50
Advocate for Equitable Access for All: Lessons Learned, Our Efforts and Compassion through working with Developing Countries in Asia 第7会場
【国際交流委員会】

座長：余谷 暢之（国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科）
 Sujeong Kim, PhD, RN (Assistant Professor of nursing at the Catholic University of Korea / Associate Director, Research Institute for Hospice & Palliative Care)

演者：**途上国に学ぶ：コミュニティ参加の緩和ケアから、Compassionate Communityをめざして**
 二ノ坂 保喜（いのさかクリニック、ハングラデシュと手をつなぐ会）

Effectiveness of International Hospice and Palliative Care Training for Health Care Professionals in Countries of the Western Pacific Region
 Sujeong Kim, PhD, RN (Assistant Professor of nursing at the Catholic University of Korea / Associate Director, Research Institute for Hospice & Palliative Care)

"Cancer Treatment, Hospice/Palliative Care, and Bioethics"—Establish an international Collaborative Research Platform and Professional Talent Training Workshop in Southeast Asia
 Wen-Yu Hu, Taiwan, PhD, RN (Chair, School of Nursing, National Taiwan University / Chair, Department of Nursing, National Taiwan University)

CM5 6月30日(金)15:20-16:50
緩和医療学会のネクストステージ～緩和医療学会が次の5年ですべきこと～ 第8会場
【将来構想委員会】

座長：木澤 義之（筑波大学医学医療系）
 上村 恵一（国家公務員共済組合連合会 斗南病院）

演者：**緩和医療学会へのがん患者からの期待**
 天野 慎介（一般社団法人全国がん患者団体連合会）

教育・普及啓発のネクストステージ
 柏木 秀行（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

緩和医療学会において看護が目指すビジョン
 荒尾 晴恵（大阪大学大学院医学系研究科）

緩和医療学会としての将来構想プラン～非がんと在宅の視点から～
 浜野 淳（筑波大学 医学医療系）

CM6 6月30日(金)15:20-16:50
医師のためのキャリアパス座談会 第13会場
【教育・研修委員会】

座長：大屋 清文（ピースホームケアクリニック）

演者：松本 衣里（医療法人社団 孔和会 松本内科・眼科）
 平塚 裕介（竹田総合病院緩和医療科/東北大学大学院緩和医療学分野）
 下井 辰徳（国立がん研究センター中央病院）
 山口 健也（地域医療機能推進機構 九州病院）
 小林 孝一郎（黒部市民病院 緩和ケアセンター）

CM7 7月1日(土)8:30-10:00
緩和系研究でグラントを取るコツ 第8会場
【学術委員会】

座長：井上 彰（東北大学大学院医学系研究科）
 伊勢 雄也（日本医科大学付属病院薬剤部）

演者：**研究審査側からみた研究費申請の技術**
 宮下 光令（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野）

グラント応募の成功率をあげるために～失敗と成功体験から考える～
 松岡 弘道（国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科、支持療法開発センター）

臨現場で働くいち作業療法士が緩和ケア病棟リハビリ研究の研究資金をどのように獲得してきたか?
 西山 菜々子（大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科）

CM8 専門医・認定医フォーラム どう変わる?専門医制度 【専門医認定委員会、専門医育成・教育委員会】	7月1日(土)8:30-10:00 第13会場
--	----------------------------

座長：久永 貴之（専門医認定委員会/筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）
柏木 秀行（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

演者：専門医制度改訂概要

久永 貴之（専門医認定委員会/筑波メディカルセンター病院 緩和医療科）

WEB申請制度について

山田 博英（総合病院聖隷浜松病院）

新設される指導医について ～指導医講習会的话题を中心に～

山口 健也（地域医療機能推進機構 九州病院）

日本専門医機構認定・学会認定サブスペシャリティ

橋口 さおり（聖マリアンナ医科大学緩和医療学講座）

新設 専門医育成・教育委員会の役割とビジョン

柏木 秀行（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）

CM9 緩和ケアを語り聴き癒しあおう～緩和ケアに携わる看護師のための悩み・相談ブース～ 【教育・研修委員会】	7月1日(土)10:15-11:45 第8会場
---	----------------------------

座長：小林 孝一郎（黒部市民病院 緩和ケアセンター）

演者：緩和ケアの魅力語り合おう

田村 恵子（大阪歯科大学医療イノベーション研究推進機構）

エキスパートのキャリアパスを聞いてみよう

林 糸り子（横浜市立大学 医学部看護学科 がん看護学、藤沢湘南台病院 看護部）

緩和ケアを語り聴き癒しあおう

～緩和ケアに携わる看護師のための悩み・相談ブース～

《緩和ケアの悩みを相談しよう》

岡山 幸子（宝塚市立病院 緩和ケア病棟）

緩和ケア・EOLケアの教育を考えよう

西山 みどり（有馬温泉病院）

CM10 治療抵抗性の苦痛と鎮静の手引き2023年版 改訂のポイント 【ガイドライン統括委員会】	7月1日(土)13:20-14:50 第2会場
---	----------------------------

座長：池永 昌之（淀川キリスト教病院 緩和医療内科）

演者：治療抵抗性の苦痛と鎮静の手引き 改訂の概要

今井 堅吾（聖隷三方原病院 ホスピスコ）

難治性苦痛への対応

松田 能宣（国立病院機構近畿中央呼吸器センター）

苦痛緩和のための鎮静に関する系統的レビュー・メタ分析の紹介

森田 達也（聖隷三方原病院）

法律班からの改訂のポイント

稲葉 一人（いなば法律事務所）

CM12 男女共同参画推進と緩和医療従事者のワーク&ライフバランス ～日本緩和医療学会での取り組み～ 【総務・財務委員会】	7月1日(土)15:05-16:35 第13会場
--	-----------------------------

座長：所 昭宏（国立病院機構 近畿中央呼吸器センター心療内科/支持・緩和療法チーム）
關本 翌子（国立がん研究センター中央病院）

演者：緩和ケア医としてのキャリアパスとワーク&ライフバランス

谷口 彩乃（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）

がん専門病院における看護師に対する取り組み

栗原 美穂（国立研究開発法人国立がん研究センター東病院）

男女共同参画推進と緩和医療従事者のワーク&ライフバランス～日本緩和医療学会での取り組み～

谷口 里佳（特定非営利活動法人日本緩和医療学会事務局）

男女共同参画推進と緩和医療従事者のワーク&ライフバランス～日本緩和医療学会での取り組み～

日本緩和医療学会 事務局顧問 関孝子 社会保険労務士事務所 関 孝子

関 孝子（関孝子社会保険労務士事務所）

ランチョンセミナー

LS1 放射線療法が支える緩和医療の実際	6月30日(金)12:20-13:20 第2会場
---------------------------------------	-----------------------------

共催：一般社団法人がん医療の今を共有する会（ACT）

座長：高橋 健夫（埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科）

モデレーター：岸田 徹（NPO法人がんノート）

演者：第4期がん対策推進基本計画について

原澤 朋史（厚生労働省健康局がん・疾病対策課）

放射線療法が支える緩和医療の実際

角田 貴代美（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）

LS2 おくすりに愛される医療者になろう～鎮痛薬を活かすも埋めるもアナタ次第～	6月30日(金)12:20-13:20 第3会場
--	-----------------------------

共催：久光製薬株式会社

座長：中島 信久（琉球大学病院 地域・国際医療部 緩和ケアセンター）

演者：おくすりに愛される医療者になろう～鎮痛薬を活かすも埋めるもアナタ次第～

田上 恵太（東北大学大学院医学系研究科 緩和医療学分野/やまと在宅診療所登米）

LS3 がんの痛みの治療と医療用麻薬の自己管理～退院後に向けた病棟管理からの卒業～	6月30日(金)12:20-13:20 第5会場
--	-----------------------------

共催：日本臓器製薬

座長：馬渡 弘典（国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院 緩和と支持療法科）

演者：がんの痛みの治療と医療用麻薬の自己管理～退院後に向けた病棟管理からの卒業～

場 元弘（青森県立中央病院 緩和ケアセンター）

LS4 心不全の緩和ケアにおける薬物療法の位置づけと知っておきたい注意点	6月30日(金)12:20-13:20 第7会場
---	-----------------------------

共催：あゆみ製薬株式会社

座長：細川 豊史（洛和会丸太町病院）

演者：心不全の緩和ケアにおける薬物療法の位置づけと知っておきたい注意点

大石 醒悟（医療法人社団まほし会真星病院 循環器内科）

LS5 がんサバイバーシップと緩和支援療法	6月30日(金)12:20-13:20 第8会場	共催：株式会社ツムラ
--	-----------------------------	------------

座長：齊藤 洋司（島根大学医学部麻酔科学）

演者：**がんサバイバーシップと緩和支援療法**
里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

LS6 がん患者の不眠への対応 ～安全性に配慮した不眠症治療薬の選択について～	6月30日(金)12:20-13:20 第12会場	共催：イーザイ株式会社
--	------------------------------	-------------

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケアセンター /緩和ケア部）

演者：**がん患者の不眠への対応 ～安全性に配慮した不眠症治療薬の選択について～**
上村 恵一（国家公務員共済組合連合会斗南病院 精神科）

LS7 難治性のがんの痛みへのアプローチ ～評価からメサドンや侵襲を伴う治療法まで、どう考えてどう対応するか～	6月30日(金)12:20-13:20 第13会場-1	共催：帝國製薬株式会社 / テルモ株式会社
--	--------------------------------	-----------------------

座長：池永 昌之（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション淀川キリスト教病院 緩和医療内科）

演者：**難治性のがんの痛みへのアプローチ～評価からメサドンや侵襲を伴う治療法まで、どう考えてどう対応するか～**
松本 禎久（がん研究会有明病院 緩和ケアセンター /緩和治療科）

LS8 地域へ緩和ケアをつなぐ看看連携	6月30日(金)12:20-13:20 第13会場-2	共催：ファミリー・ホスピス株式会社
--------------------------------------	--------------------------------	-------------------

座長：宇野 さつき（ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス）

演者：**地域へ緩和ケアをつなぐ看看連携**
成定 啓子（医療法人佐健会木村病院）

LS9 改めて考え直す“がん性疼痛”治療：病態別アプローチと実践	7月1日(土)12:05-13:05 第2会場	共催：久光製薬株式会社 / 協和キリン株式会社
---	----------------------------	-------------------------

座長：橋口 さおり（聖マリアンナ医科大学 緩和医療学講座）

演者：**改めて考え直す“がん性疼痛”治療：病態別アプローチと実践**
住谷 昌彦（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 / 東京大学大学院医学系研究科 疼痛・緩和病態医学講座）

LS10 Cancer Journeyと痛み	7月1日(土)12:05-13:05 第4会場	共催：塩野義製薬株式会社
---	----------------------------	--------------

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケアセンター・緩和ケア部）

演者：**Cancer Journeyと痛み**
里見 絵理子（国立がん研究センター中央病院 緩和医療科）

LS11 チームで支える、がん患者さんの食と栄養～悪液質を含めて～	7月1日(土)12:05-13:05 第10会場	共催：小野薬品工業株式会社
--	-----------------------------	---------------

座長：比企 直樹（北里大学医学部 上部消化管外科学）

演者：**がん悪液質に対するマルチモーダルケアにおけるアナモレリンの役割**
森 直治（愛知医科大学医学部大学院医学研究科 緩和・支持医療学）

チームで繋ぐ、患者と家族の食への想いと喜び～愛知医科大学病院の実例～
竹内 知子（愛知医科大学病院 栄養部）

LS12 看護師だからこそ、ここまでできる！～症例から読み解くがん疼痛治療のポイント～	7月1日(土)12:05-13:05 第11会場	共催：第一三共株式会社
--	-----------------------------	-------------

座長：松本 禎久（がん研究会有明病院 緩和ケアセンター /緩和治療科）

演者：**看護師だからこそ、ここまでできる！～症例から読み解くがん疼痛治療のポイント～**
余宮 きのみ（埼玉県立がんセンター 緩和ケア科）

LS13 多職種で考えるがんゲノム医療	7月1日(土)12:05-13:05 第12会場	共催：中外製薬株式会社
--------------------------------------	-----------------------------	-------------

座長：木澤 義之（筑波大学附属病院 緩和支援治療科）

演者：**保険適用後4年経過したがんゲノム医療の現状**
金井 雅史（京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座）

がんゲノム医療における看護
角 裕子（京都大学医学部附属病院 看護部）

LS14 緩和医療における口腔ケアのポイント ～口腔カンジダ症の診断と治療 口腔粘膜付着型抗真菌薬の使用法～	7月1日(土)12:05-13:05 第13会場-1	共催：久光製薬株式会社
---	-------------------------------	-------------

座長：小杉 寿文（地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科）

演者：**緩和医療における口腔ケアのポイント～口腔カンジダ症の診断と治療 口腔粘膜付着型抗真菌薬の使用法～**
野村 武史（東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座 / 口腔がんセンター）

LS15 その人らしい治療や療養を目指して～高齢がん患者への支援～	7月1日(土)12:05-13:05 第13会場-2	共催：ファイザー株式会社
--	-------------------------------	--------------

座長：梅田 恵（ファミリー・ホスピス株式会社）

演者：**その人らしい治療や療養を目指して～高齢がん患者への支援～**
今西 優子（神戸大学医学部附属病院 臨床ゲノム診療・研究センター がんゲノム医療外来）

LS16 免疫チェックポイント阻害薬治療を受けているがん患者の緩和ケアに携わる医療者が知っておきたい事	7月1日(土)12:05-13:05 第5会場	共催：MSD株式会社
--	----------------------------	------------

座長：舛石 俊樹（愛知県がんセンター 薬物療法部）

演者：**免疫チェックポイント阻害薬治療を受けているがん患者の緩和ケアに携わる医療者が知っておきたい事**
峯村 信嘉（三井記念病院 総合内科）

交流集会

EM1 終末期の家族支援 ～親を亡くす子どもに対して私たちは何ができるのだろう ～ Part2	6月30日(金)9:15-10:15 第14会場
--	-----------------------------

企画代表者：井上 実穂（国立病院機構 四国がんセンター）

EM2 がん悪液質で苦しむ患者と家族への多職種でのホリスティックマルチモーダルケアの開発 -医療者の教育と患者と家族の教育-	6月30日(金)9:15-10:15 第15会場
---	-----------------------------

企画代表者：天野 晃滋（大阪大学医学部附属病院 緩和医療センター）

EM3 はじめて触れる哲学～哲学チックな自分を見つけよう～	6月30日(金)11:00-12:00 第14会場
---	------------------------------

企画代表者：岩谷 真意（一般社団法人 日本終末期ケア協会）

EM4 俳句を詠んでみよう・ふたたび「悲嘆を詠む」	6月30日(金)11:00-12:00 第15会場
-------------------------------------	------------------------------

企画代表者：齋藤 英一（東京都健康長寿医療センター 緩和ケア内科）

EM5 緩和ケアやACPに関わる司法書士・ライフプランナーと話してみませんか？～事例を交えて～	6月30日(金)13:35-14:35 第14会場
---	------------------------------

企画代表者：鳥崎 哲平（大腸肛門病センター高野病院 緩和ケア科）

EM6 緩和ケアと効率重視の日常業務。双方を主張するスタッフ同志の衝突の本質とその打開策について ～燃え尽きて辞める前にすること	6月30日(金)13:35-14:35 第15会場
---	------------------------------

企画代表者：濱田 昇（岡山市立市民病院）

EM7 緩和ケア研修会の「がん患者等への支援」でがん体験者の講演を効果的な学びに繋げるには	6月30日(金)15:20-16:20 第14会場
---	------------------------------

企画代表者：木村 恵美子（札幌医科大学 保健医療学部、NPO法人がんサポーター北海道）

EM8 がんの療養中の方とその家族に向けて今後の見通しを話し合うために 現状確認ツールIMADOKOを使って話してみた その経験をシェアしよう！ ～一般市民として・看護師として・医師として～	6月30日(金)15:20-16:20 第15会場
---	------------------------------

企画代表者：大井 裕子（小金井ファミリークリニック、日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、NPO法人くみサポ）

EM9 緩和ケア×ベンチャー 繋がって変わる、未来の緩和医療	6月30日(金)17:05-18:05 第14会場
--	------------------------------

企画代表者：光齋 久人（六甲病院 緩和ケア内科）

EM10 コンパッション都市実現に向けて、私たちは何ができるのか？ ～ユニバーサル・ホスピスマインドを社会実装する可能性を探ろう～	6月30日(金)17:05-18:05 第15会場
--	------------------------------

企画代表者：小澤 竹俊（めぐみ在宅クリニック）

EM11 患者力がリアルワールドACPのキーワード！！	7月1日(土)8:30-9:30 第14会場
---------------------------------------	---------------------------

企画代表者：東 光久（奈良県総合医療センター）

EM12 多職種協働が変える骨転移患者の人生 ～骨転移患者が最期まで「自分らしく生きる」を支える治療・ケアを考えよう～	7月1日(土)8:30-9:30 第15会場
--	---------------------------

企画代表者：佐藤 信吾（東京医科歯科大学、日本骨転移研究会）

EM13 輸血依存患者の終末期における意思決定支援 ～血液悪性腫瘍を中心に～	7月1日(土)10:15-11:15 第13-2会場
--	-------------------------------

企画代表者：服部 友歌子（大和市立病院 血液・腫瘍内科）

EM14 「ナラティブ・メディスン」の実践体験と情報交流の場	7月1日(土)10:15-11:15 第14会場
--	-----------------------------

企画代表者：栗原 幸江（がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科、上智大学グリーンケア研究所、認定NPO法人マギーズ東京）

EM15 地域における小児緩和ケアの今と未来を話し合おう！	7月1日(土)10:15-11:15 第15会場
---	-----------------------------

企画代表者：津村 明美（認定NPO法人 横浜子どもホスピスプロジェクト、医療法人社団幸貴会 せや在宅クリニック）

EM16 緩和領域において、より良いリハビリテーションを提供するために我々にできることは	7月1日(土)13:20-14:20 第14会場
--	-----------------------------

企画代表者：角田 健（要町病院 リハビリテーション科）

EM17 ACPを病院や地域で広めるためのコツってありますか？(PARTII) ～ACPのためのチームビルディングとは～	7月1日(土)13:20-14:20 第15会場
---	-----------------------------

企画代表者：佐藤 直（総合南東北病院）

EM18 積極的治療を離れる現実を前に、医療枠を超えた意思決定支援の可能性を探る ～体験者に力を借りた症例(ビデオ鑑賞)で考える～	7月1日(土)15:05-16:05 第14会場
--	-----------------------------

企画代表者：宮本 直治（一般社団法人医療と暮らしを考える会、がん患者グループゆずりは）

EM19 臨床宗教師と医療者との協働と可能性の発展を探る	7月1日(土)15:05-16:05 第15会場
--	-----------------------------

企画代表者：河南 真吾（徳島大学大学院 総合診療医学分野）

最優秀演題

最優秀演題	6月30日(金)17:05-18:05 第1会場
--------------	-----------------------------

座長：坂本 雅樹（名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科）
向井 未年子（愛知県がんセンター）

最優秀演題1-1 終末期がん患者におけるがん関連痛の強さと医療用麻薬処方量の関連
—全国アンケート調査と医療情報データベース研究の結果を組み合わせた重回帰分析—
長谷川 麻衣子（東京大学大学院医学系研究科 疼痛・緩和病態医学講座）

最優秀演題1-2 がん患者の呼吸困難に対するオピオイド全身投与：リアルワールド観察研究
田崎 潤一（甲南医療センター 緩和ケア内科）

最優秀演題1-3 終末期過活動型せん妄に対するクロロプロマジンおよびレボプロマジンの持続皮下注射の有効性と安全性の
前向き観察研究
川島 夏希（筑波大学附属病院 緩和和支持治療科 緩和ケアセンター）

最優秀演題1-4 医療ビッグデータを用いた、在宅医療を開始する終末期がん患者での退院時カンファレンスの再入院に対する
有効性に関する疫学研究
足立 光（名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 博士前期課程、一宮市立市民病院）

最優秀演題1-5 緩和ケア、早期緩和ケアの有無とがん終末期医療の質：
リアルワールドデータを用いた傾向スコアマッチングコホート研究
奥原 康司（愛知医科大学病院 看護部、名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻）

優秀演題1-6 末期腎不全患者の終末期の話し合いと遺族による終末期ケアの評価および抑うつとの関連
川島 有沙 (名古屋大学 大学院 医学系研究科 総合保健学専攻)

優秀演題

優秀演題1
分野1「痛み」 6月30日(金)11:00-12:00 第2会場

座長：佐藤 哲哉 (静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)
山代 亜紀子 (洛和会音羽病院 緩和ケア内科)

優秀演題1-1 痛覚感受性の個人差に対するXDRH遺伝子多型の関連
河合 桐男 (東京大学 医学部 附属病院 緩和ケア診療部、東京大学大学院 医学系研究科 疼痛緩和病態医学講座)

優秀演題1-2 専門的緩和ケアサービスが提供する標準的がん疼痛治療による疼痛改善理由の探索：
多施設共同観察研究から得られた質的データの内容分析
菅原 佑菜 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野、仙台厚生病院 看護部)

優秀演題1-3 進行がん患者の難治性疼痛治療に関連して、Integrated Palliative Outcome Scaleや支障に基づく評価と
Numeric Rating Scaleに基づく評価を比較する：後ろ向きコホート研究
小田切 拓也 (揖斐厚生病院 緩和ケア科)

優秀演題1-4 終末期せん妄とがん疼痛が併存した際の治療方針について 緩和ケア医と精神科医の見解の違いに関する全国調査
島津 葉月 (東北大学病院 緩和医療科)

優秀演題1-5 疼痛緩和照射の効果予測因子に関する研究
小出 雄太郎 (愛知県がんセンター 放射線治療部)

優秀演題2
分野2「痛み以外の身体症状」 6月30日(金)11:00-12:00 第7会場

座長：立松 典篤 (名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻)
横道 直佑 (聖隷三方原病院 緩和支援診療科)

優秀演題2-1 疼痛に対してオピオイド使用中のがん患者呼吸困難に対するオピオイドの有効性についての観察研究
鈴木 梢 (がん・感染症センター 都立駒込病院 緩和ケア科)

優秀演題2-2 Computed tomographyおよび直腸指診を存在診断のゴールドスタンダードとした直腸内便塊貯留に対する
携帯型腹部超音波の有用性の検討
結束 貴臣 (国際医療福祉大学成田病院、横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室)

優秀演題2-3 直腸に便貯留を有するオピオイド誘発性便秘に対して3種類の主な経口便秘症治療薬の有効性を比較した前向き
観察研究
結束 貴臣 (国際医療福祉大学成田病院、横浜市立大学大学院医学研究科 肝胆膵消化器病学教室)

優秀演題2-4 がん患者の倦怠感に対する自己評価と看護師による他者評価の実態調査
松田 瑞葵 (新潟大学 大学院 保健学研究科 博士前期課程)

優秀演題2-5 緩和ケアを受ける進行消化器がん患者の倦怠感と筋肉量の関連
櫻井 圭祐 (愛知医科大学 緩和ケアセンター)

優秀演題3
分野4「地域・在宅ケア・特定集団に対する緩和ケア」 6月30日(金)11:00-12:00 第8会場

座長：名古屋 祐子 (宮城大学 看護学群 小児看護学領域)
平本 秀二 (ピースホームケアクリニック)

優秀演題3-1 終末期がん患者の療養場所選択に影響を及ぼす要因
武田 ひろみ (名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 看護部)

優秀演題3-2 オンラインを活用した多地点連携小児緩和ケアネットワークの構築
相馬 伸樹 (宮城県立こども病院 緩和ケアチーム、宮城県立こども病院 薬剤部)

優秀演題3-3 新潟県の在宅医療実態調査を活用した地域緩和ケアシステム構築に向けた検討
坂井 さゆり (新潟大学 大学院保健学研究科)

優秀演題3-4 小児専門病院における院内死亡症例の特徴と緩和ケアチームの介入実態
東 志勇 (国立成育医療研究センター 教育研修センター)

優秀演題3-5 高齢者施設における緩和ケアの現状と課題に関する全国アンケート調査
竹田 雄馬 (横浜市立大学附属病院 緩和医療科、国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

優秀演題4
分野5「終末期ケア・専門的緩和ケア(緩和ケア病棟・緩和ケアチーム等)」 6月30日(金)11:00-12:00 第12会場

座長：岡山 幸子 (宝塚市立病院 緩和ケア病棟)
松沼 亮 (オリブ山病院)

優秀演題4-1 緩和ケアチームに介入依頼があった小児症例の検討
寺本 晃治 (滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍内科、
滋賀医科大学医学部附属病院 腫瘍センター・緩和ケアセンター)

優秀演題4-2 筋萎縮性側索硬化症患者への緩和ケアチーム介入の有用性の検討
邨野 千尋 (東北大学病院緩和医療科、国立病院機構山形病院緩和ケアチーム)

優秀演題4-3 オピオイドスイッチングに関する記録フォーマット導入の効果
松岡 秀和 (千葉県がんセンター)

優秀演題4-4 進行胃癌の終末期医療におけるCOVID-19感染症の影響 ~ COVID-19蔓延前後で比較して~
山本 果奈 (東京女子医科大学 消化器内科、がんセンター)

優秀演題4-5 当院緩和ケア病棟における嚥下機能評価・嚥下リハビリ介入の現状について
太田 久幸 (新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科)

優秀演題4-6 我が国における死亡前14日間の終末期医療の実態に関する研究：診療報酬請求データベースを用いた記述研究
富樫 慎太郎 (東北大学大学院医学系研究科緩和ケア看護学分野)

優秀演題5
分野6「教育・普及啓発・研究方法・その他」 6月30日(金)11:00-12:00 第13会場

座長：品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター)
林 糸り子 (横浜市立大学 医学部 看護学科 がん看護学、藤沢湘南台病院 看護部)

優秀演題5-1 A大学病院における看護師の看取りに関する困難感の要因分析と教育計画の検討
~ A大学病院の環境分析とSECIモデルを活用した教育展望~
安高 久美子 (産業医科大学病院 緩和ケアセンター)

優秀演題5-2 積極介入型骨転移がん患者を基盤とする院内教育効果
中村 聡明 (関西医科大学 放射線治療科)

優秀演題5-3 高齢がん患者の意思決定支援と看護師のエイジズムとの関係
池田 篤哉 (国立がん研究センター中央病院 看護部)

優秀演題5-4 心不全患者のEnd of Life Discussionと終末期医療との関連
大上 耕作 (京都大学医学部附属病院 看護部)

優秀演題5-5 がんゲノム医療リアルワールドデータから考える検査プロセスの自己意思決定支援への重要性
奥川 喜永 (三重大学医学部附属病院ゲノム医療部、三重大学大学院医学系研究科 消化管小児外科学講座、
三重大学病院 緩和ケアチーム)

優秀演題5-6 QOL/PRO研究に関する国際的取り組みに参画するための国内体制整備
石木 寛人 (国立がん研究センター中央病院)

優秀演題6
分野6「教育・普及啓発・研究方法・その他」 6月30日(金)15:20-16:20 第13-2会場

座長：小野田 千晴 (焼津市立総合病院 薬剤部)
小杉 俊介 (飯塚病院 総合診療科、九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座)

優秀演題6-1 遺族調査のアウトカムに対する患者背景・遺族背景の寄与度
宮下 光令 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)

優秀演題6-2 患者と医療者とのコミュニケーション評価尺度としてのFeeling Heard and Understood scale日本語版の作成と信頼性・妥当性の検討
高橋 美樹 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野/医学専攻 緩和医療学分野)

優秀演題6-3 がん患者の呼吸困難に対する看護支援についてのスコopingレビュー：Evidence Practice (EP) -GAP Group Study
角甲 純 (三重大学)

優秀演題6-4 実装科学研究の方法論を用いた患者報告アウトカムの臨床導入方法の開発と検証
伊藤 奈央 (岩手医科大学 看護学部)

優秀演題6-5 性的マイノリティに対する医療のあり方に関する研究
大谷 弘行 (聖マリア病院、九州がんセンター)

優秀演題6-6 がん患者の症状評価における機械学習の説明性
嶋田 和貴 (京都大学 医学部 附属病院 緩和医療科)

優秀演題7 分野1「痛み」 7月1日(土)10:15-11:15 第13-1会場

座長：岡本 禎晃 (市立芦屋病院)
鈴木 梢 (がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科)

優秀演題7-1 進行再発がん患者におけるオピオイド鎮痛薬導入前後の心理的障壁と疼痛：多施設共同研究
津野 文彦 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部)

優秀演題7-2 難治性がん疼痛に対するメサドンの有効性の検討
鈴木 由華 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

優秀演題7-3 がん疼痛患者におけるオピオイド鎮痛薬による感覚閾値の影響
金井 昭文 (北里大学医学部新世紀医療開発センター)

優秀演題7-4 がん性疼痛患者の出産に際し新生児薬物離脱症候群を認めた1症例
小島 圭子 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 緩和ケア内科)

優秀演題7-5 去勢域前立腺癌症例に対する挿中益気湯のAging males' symptomスコアへの影響 -特に関節や筋肉の痛みに対する効果について-
大岡 均至 (国立病院機構 神戸医療センター 泌尿器科)

優秀演題7-6 がん関連神経障害性疼痛に対するコルチコステロイド全身投与の有効性に影響する因子の前向き観察研究
小池 輪太郎 (東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野)

優秀演題8 分野2「痛み以外の身体症状」 7月1日(土)13:20-14:20 第7会場

座長：天野 晃滋 (大阪大学医学部附属病院 緩和医療センター)
角甲 純 (三重大学)

優秀演題8-1 終末期患者の排尿方法とQOLに関する検討
村上 真基 (信州上田医療センター 緩和ケア内科、医療法人光仁会 川西医院)

優秀演題8-2 終末期がん患者の夜間頻尿に対するタムロシンの治療効果と効果予測因子の検討：後方視的調査
加藤 栄助 (小牧市民病院 緩和ケア科、
昭和大学 医学部 内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門 藤が丘病院 呼吸器内科)

優秀演題8-3 がん患者のDVT有症率とリスク因子の関連についての検討
山崎 裕 (市立函館病院 緩和ケア科、市立函館病院 緩和ケアチーム)

優秀演題8-4 オピオイド使用進行がん患者に対するベンゾジアゼピン系薬剤投与の呼吸に与える影響：前向き観察研究
吉村 晶子 (千葉県がんセンター 緩和医療科)

優秀演題8-5 プロカルシトニンは他の炎症マーカーに比べて、終末期の進行がん患者の発熱において、臨床経過から判断される感染症と腫瘍熱の鑑別に有用か?：後ろ向きコホート研究
小田切 拓也 (揖斐厚生病院 緩和ケア科)

優秀演題8-6 介護支援を要したがん患者の医療や療養生活に関する全国アンケート調査—痛み以外の症状
枝村 達磨 (東京大学 医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター)

優秀演題9 分野4「地域・在宅ケア・特定集団に対する緩和ケア」 7月1日(土)13:20-14:20 第8会場

座長：宇野 さつき (ファミリー・ホスピス神戸垂水ハウス)
坂下 明大 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

優秀演題9-1 在宅医療における造血管腫痛終末期の予後予測ツールの開発：Japan palliative hematological oncology estimates (JPHOPE)
宮下 直洋 (HOME CARE CLINIC N-CONCEPT、NPO血液在宅ねっと)

優秀演題9-2 がん治療と在宅緩和ケアの統合：促進因子と阻害因子を同定するための質的研究
長谷川 貴昭 (名古屋立大学病院 緩和ケアセンター)

優秀演題9-3 軽度から中等度アルツハイマー型認知症高齢者の自己決定に関する思い
関川 加奈子 (大阪医科薬科大学 看護学研究科 博士前期課程)

優秀演題9-4 高度腎機能障害を伴う末期心不全患者におけるモルヒネ持続注入の安全性に関する検討
大北 淳也 (小牧市民病院 緩和ケア科)

優秀演題9-5 間質性肺疾患終末期患者のせん妄に関する後ろ向き観察研究
久瀬 雄介 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター 呼吸器内科)

優秀演題9-6 急性期病院における末期腎不全患者の終末期および保存的腎臓療法 (Conservative Kidney Management : CKM) に関する話し合いの遺族調査
高井 奈美 (名古屋大学 医学部 附属病院)

優秀演題10 分野5「終末期ケア・専門的緩和ケア(緩和ケア病棟・緩和ケアチーム等)」 7月1日(土)13:20-14:20 第12会場

座長：前田 一石 (医療法人協和会 千里中央病院)
萬谷 摩美子 (医療法人愛和会 愛和病院)

優秀演題10-1 コロナ禍における緩和ケア病棟の面会制限に対する家族評価
加藤 真由美 (北海道勤労者医療協会勤医協中央病院緩和ケア病棟)

優秀演題10-2 緩和ケア病棟における専門的リハビリテーションの実施状況と潜在するニーズ
西山 菜々子 (大阪公立大学 大学院リハビリテーション学研究科)

優秀演題10-3 がん診療連携拠点病院におけるコロナ禍による緩和ケア病棟の休止と緩和ケア病床での活動についての報告
阿部 克哉 ((株) 日立製作所 日立総合病院 緩和ケア科)

優秀演題10-4 緩和ケア病棟における質改善活動の実態と遺族調査におけるアウトカムとの関連
田口 菜月 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)

優秀演題10-5 医療者と患者間の症状聴取に関する会話音声データに対する音声認識の精度及び症状判別機械学習モデルの性能評価：健常者を対象とした予備研究
富田 さくら (東北大学 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)

優秀演題10-6 進行肺癌がん患者に対する看護師主導の早期からの専門的緩和ケアプログラムの実装研究
中野 真理子 (順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 がん治療センター、
聖路加国際大学大学院 看護研究科 がん看護学・緩和ケア)

優秀演題11 分野3「精神心理的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケア」 7月1日(土)15:05-16:05 第7会場

座長：倉田 明子 (広島大学病院 精神科 / 緩和ケアセンター)
平井 啓 (大阪大学大学院人間科学研究科)

優秀演題11-1 子どものがんの発病から死を迎えるまで子どもの病と闘った母親の“希望と時間の意味づけの変容”のプロセス：M-GTAによる母親の生きる力の軌跡に関する質的研究
平田 美佳 (埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科)

優秀演題11-2 緩和ケア病棟に入院した終末期がん患者の家族の予期悲嘆と死別後反応への影響
宮下 光令 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)

優秀演題11-3 終末期せん妄によるつらさは遺族の複雑性悲嘆と関連する
内田 恵 (名古屋立大学病院 緩和ケアセンター、名古屋立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学)

- 優秀演題11-4 終末期がん患者における転倒に至った行動理由に関する大規模多施設共同前向き観察研究 (EASED study)
大谷 弘行 (聖マリア病院、九州がんセンター)
- 優秀演題11-5 終末期がん患者の低活動型せん妄に対する臨床医の考え方と診療実践について：全国質問紙調査
大屋 清文 (ピースホームケアクリニック、飯塚病院 臨床研究支援室)
- 優秀演題11-6 がん患者のせん妄発症とサルコペニアとの関連性に関する検討～前向き研究～
加藤 涼子 (愛知医科大学病院 薬剤部、愛知医科大学病院 緩和ケアチーム)

一般演題ポスター

- | 痛みの基礎研究
(P1-1～P1-2) | 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場 |
|--|---|
| P1-1 終末期がん患者の神経障害性疼痛に対する薬剤と看護ケアの実態調査
卯野木 理紗子 (横浜市立市民病院) | |
| P1-2 緩和ケアにおけるミロガバリンの使用状況と効果について
田村 仁司 (飯田市立病院 看護部 緩和ケアチーム専従看護師) | |
-
- | 痛みの評価・診断
(P1-3～P1-8) | 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場 |
|--|---|
| P1-3 がん患者に対する疼痛緩和への管理方法の実態と患者満足度の調査
近藤 千恵 (藤田医科大学病院 看護部) | |
| P1-4 専門的緩和ケアががん疼痛の分類ごとに選択する鎮痛薬と効果に関する検討
小杉 和博 (国立がん研究センター東病院 緩和医療科) | |
| P1-5 地域がん診療連携拠点病院における外来看護師の疼痛アセスメント
一「痛み日記問診ダイナミックテンプレート」を導入して一
小野 早代 (地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 看護部、
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 緩和ケアセンター、
地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 がん診療サポートチーム) | |
| P1-6 がん胸膜播種の症状緩和に難渋した2症例の経験から良好な症状緩和ができた1症例
吉野 和穂 (小田原市立病院 緩和ケア科、小田原市立病院 がんサポートチーム) | |
| P1-7 ユニツキシリン投与時の疼痛管理経験
秋田 一樹 (山梨大学 医学部 麻酔科学講座) | |
| P1-8 疼痛の原因究明に苦慮し、疼痛緩和に難渋した前立腺がん多発骨転移の一症例
加藤 泰史 (福井県済生会病院 緩和ケア科) | |
-
- | オピオイド
(P1-9～P1-37) | 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場 |
|--|---|
| P1-9 リファンピシンとの併用でオキシコドンの効果が減弱し、ヒドロモルフォンが有効であった悪性リンパ腫によるがん性疼痛の一例
内田 範子 (一般財団法人 大阪府結核予防会 大阪複十字病院) | |
| P1-10 婦人科終末期患者への近親者の面会がオピオイド需要量に与える影響の検討
平山 貴士 (順天堂大学 産婦人科) | |
| P1-11 オピオイド誘発性便秘に対する便秘治療薬の内訳と使用順序について
山口 曜 (国立がん研究センター 中央病院) | |
| P1-12 リファンピシン併用下におけるタベンタドールでの疼痛コントロールによりQOLが改善した1症例
小林 勝利 (独立行政法人 国立病院機構 東京病院 薬剤部、
独立行政法人 国立病院機構 東京病院 薬剤部 緩和ケアチーム) | |

- P1-13 信州大学医学部附属病院におけるタベンタドールの使用状況
田中 成明 (信州大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科)
- P1-14 放射線化学療法奏効後のオピオイド身体依存から断薬できた食道がんの1例
船橋 依理子 (国立病院機構 名古屋医療センター 腫瘍内科、国立病院機構 名古屋医療センター 緩和ケアチーム)
- P1-15 当院における難治性がん疼痛に対するメサドンの使用解析
塩田 祐子 (東京慈恵会医科大学附属病院 緩和ケア診療部)
- P1-16 ヒドロモルフォン徐放錠と思われる錠剤が回腸ストーマから排泄され、疼痛の増悪を伴った放射線性直腸炎の1例
前川 健一 (鹿児島大学病院 緩和ケアセンター、鹿児島大学病院 血液・膠原病内科)
- P1-17 腸管急性移植片対宿主病におけるオピオイド投与例の検討
木原 里香 (JA愛知厚生連 江南厚生病院 緩和ケア内科)
- P1-18 経口オピオイドの携帯に関する実態調査—化学療法センター通院患者を対象に—
竹田 美和子 (公立置賜総合病院 看護部)
- P1-19 骨破壊による難治性の疼痛に対し塩酸モルヒネのくも膜下投与を行い、在宅で疼痛緩和が奏効した2症例
佐々木 翼 (健心会 ライフクリック、在宅ホスピス研究所バリアン)
- P1-20 フェンタニル貼付薬では無効であったがオキシコドン徐放錠が著効した、蠕動亢進に伴う激痛を有する大腸多発憩室症の一例
後藤 慎一 (日本赤十字社長崎原爆病院 緩和ケア内科)
- P1-21 胃瘻からのメサドン錠投与による疼痛コントロールを行った食道胃接合部癌の一例
大内 竜介 (東北医科薬科大学薬学部病院薬剤学教室、東北医科薬科大学病院薬剤部)
- P1-22 タベンタドールと他のオピオイド鎮痛薬の持続投与との併用によりタベンタドールの有用性が高まった1例
阿部 克哉 ((株) 日立製作所 日立総合病院 緩和ケア科)
- P1-23 がん疼痛に対してメサドンが導入された82例の後方視的検討
秋月 晶子 (がん研有明病院 緩和治療科)
- P1-24 ヒドロモルフォン塩酸塩注から徐放錠への換算を行った一例
小城原 傑 (昭和大学江東豊洲病院 消化器センター、昭和大学江東豊洲病院 緩和ケアチーム)
- P1-25 フェンタニル貼付剤6.25 μ g/hrの中止で離脱症状を引き起こし、中止に難渋した1例
渡部 祐子 (松江赤十字病院 第一麻酔科)
- P1-26 メサドン塩酸塩錠の内服が困難になった頭頸部癌患者に対して多職種チームによる薬物的非薬物的介入を行い良好な疼痛コントロールとQOLを保てた1例
船木 康二郎 (富山県立中央病院 緩和ケア科)
- P1-27 がんサバイバーにおけるオピオイド不適切使用症例
本間 恵子 (金沢医科大学 医学部 麻酔科学講座)
- P1-28 代謝経路を考慮したオピオイドスイッチングにてQOLが改善し母親の役割を果たせるようになった1例
佐藤 好 (愛知県がんセンター 緩和ケアセンター /看護部)
- P1-29 当院の入院患者におけるオピオイドスイッチングの後方視的検討
高木 裕介 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部、
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 緩和ケアチーム)
- P1-30 麻薬性鎮痛剤の持続皮下注射の薬液の結晶化に関する研究
原口 勝 (公立八女総合病院企業団 みどりの杜病院)
- P1-31 直腸癌術後骨盤内再発に対する重粒子線治療後の神経障害性疼痛の緩和においてケミカルコーピングを疑いNMDA受容体拮抗薬を用いてオピオイドを減量した一例
小西 治子 (日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)
- P1-32 地方厚生局長の許可だけでない医療用麻薬服用中の患者の海外渡航の際の手続き～ 韓国旅行を支援して
池垣 淳一 (医療法人社団 池垣クリニック)
- P1-33 メサドン誘発性眠気の要因の特定および眠気を誘発しない換算比の提案：後ろ向きコホート研究
竹村 美穂 (大阪大学大学院 薬学研究科、市立芦屋病院 薬剤科)
- P1-34 硬膜外ブロックによるオピオイド誘発性痛覚過敏の診断と治療
浅野 真 (社会医療法人 平成醫塾 苫小牧東病院)

- P1-35 慢性腎不全併存の肺癌術後多発転移による侵害受容性疼痛に対し、静脈ルートによる急速タイトレーションで加療し、終末期をほぼ無痛で療養された一症例
藤岡 真治（一般財団法人永頼会松山市民病院呼吸器外科）
- P1-36 緩和ケア外来でメサドンを導入したがん患者の疼痛評価
重田 宏恵（香川大学 医学部附属病院 緩和ケアセンター）
- P1-37 医療用麻薬に関連したインシデントの検討
白木 照夫（国立病院機構岩国医療センター緩和ケア）

オピオイド以外の薬物療法 (P1-38～P1-46) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P1-38 相良病院におけるジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の処方状況と有効であった化学療法施行中の3症例
川床 優子（社会医療法人博愛会 相良病院 薬剤部）
- P1-39 婦人科骨盤内腫瘍による難治性疼痛に対してケタミン少量持続投与が有効であった3症例
中西 英世（新百合ヶ丘総合病院 緩和ケア内科）
- P1-40 がん性疼痛に対する経皮吸収型非ステロイド性疼痛治療薬ジクロフェナクナトリウムの有用性
齋藤 徹也（済生会川口総合病院 緩和ケアチーム）
- P1-41 がん疼痛の緩和的放射線治療実施の際に疼痛のため安静体位保持が困難な患者において、短時間の鎮静鎮痛にケタミンが有効であった一例
二宮 万理恵（市立豊中病院 緩和ケアセンター、市立豊中病院 麻酔科）
- P1-42 腹部膨満症状を呈する終末期がん患者に対する静注用リドカインの有効性
川村 泰一（静岡県立静岡がんセンター）
- P1-43 オピオイド抵抗性の神経障害性疼痛に対しケタミンが奏効した一例
杉山 重里（東京歯科大学市川総合病院）
- P1-44 ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤が奏効した放射線食道炎の一例
黒田 葵（東京歯科大学市川総合病院）
- P1-45 転移性脳腫瘍に伴う頭痛に対して安息香酸ナトリウムカフェインが有効であった一例
中村 千加弘（トヨタ記念病院）
- P1-46 腹腔動脈周囲への浸潤による疼痛にガバペンチノイドを使用した症例
脇田 和博（公立八女総合病院）

ペインクリニック・神経ブロック (P1-47～P1-60) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P1-47 自己調節型硬膜外鎮痛法（PCEA法）により退院が可能となった激しい疼痛を有する子宮頸癌の2例
高山 寛人（安曇野赤十字病院）
- P1-48 在宅緩和ケア患者に対する硬膜外鎮痛2症例の経験
塩田 修玄（やすらぎ在宅診療所）
- P1-49 持続硬膜外ブロックを併用した腹腔神経叢（内臓神経）ブロックにおけるIVR-CTの有用性
小山 祐介（福山市民病院 麻酔科・がんペインクリニック）
- P1-50 神経ブロックを併用した疼痛コントロールにより抗癌治療の継続が可能となった婦人科がんの一例
牧野 綾（市立札幌病院 緩和ケア内科）
- P1-51 当院で経験した超音波内視鏡下腹腔神経叢ブロック（EUS-CPN）の3例
金沢 哲広（だいでうクリニック 在宅診療部、大同病院 消化器内科）
- P1-52 オピオイド全身投与でも緩和が不十分であったがん疼痛に対して硬膜外ポートを用いた脊髄鎮痛法を行い、在宅療養が可能となった一例
浅石 健（大阪医科大学病院 緩和ケアセンター）
- P1-53 難渋するがん性疼痛を自覚する終末期若年癌患者の在宅療養に際して硬膜外ポート留置が有効であり、地域の連携により在宅療養が可能であった直腸癌患者の一例
木下 紗緒梨（聖隷横浜病院 麻酔科、かがみ在宅クリニック）

- P1-54 持続硬膜外ブロックの併用により、高度のがん疼痛を緩和できた小児腎細胞癌の1例
野田 美弥子（鹿児島大学病院 緩和ケアセンター）
- P1-55 舌根部がんによる難治性嚥下時痛に対して舌咽神経高周波熱凝固術が有効であった1例
杉山 陽子（中部国際医療センター 麻酔・疼痛・侵襲制御センター）
- P1-56 終末期を痛みの増強なく快適に過ごしていただくための神経ブロック療法～最近の内臓神経ブロック自験例から～
佐藤 哲哉（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科、静岡県立静岡がんセンター 緩和ケアチーム）
- P1-57 脊髄神経後枝ブロックが有効だった胸椎転移の一例
住本 秀敏（滋賀医科大学附属病院 腫瘍内科、滋賀医科大学附属病院 腫瘍センター、滋賀医科大学附属病院 緩和ケアセンター）
- P1-58 オピオイド・放射線治療抵抗性の疼痛に上下腹神経叢ブロックが著効し、在宅移行可能となった子宮頸がん局所浸潤の一例
濱口 明彦（東京慈恵会医科大学附属柏病院 緩和ケアチーム、同腎臓・高血圧内科）
- P1-59 当院における緩和ケアチーム内での神経ブロック治療 ～スタートアップから現在の状況について～
奈良井 康宏（島根県立中央病院 麻酔科）
- P1-60 がん疼痛および腰椎椎間板ヘルニア併発患者の腰部疼痛の鑑別に硬膜外ブロックが有用であった1症例
小島 康裕（JA愛知厚生連豊田厚生病院 麻酔科・ペインクリニック外科）

非薬物療法(患者教育など) (P1-61～P1-63) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P1-61 緩和的放射線治療に積極的な鎮痛に加え経静脈的鎮静が必要であり、多職種連携で完遂できた3症例
小野寺 美子（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）
- P1-62 認知行動療法を参考にした患者教育で腰痛が軽減した1例
脇田 和博（公立八女総合病院）
- P1-63 疼痛緩和に放射線治療が有効であった肺癌右大腿筋転移の1例
松井 孝至（青梅市立総合病院 疼痛緩和内科）

トータルペイン (P1-64～P1-70) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P1-64 服薬アドヒアランスが不良であった梨状陥凹癌の1例
中村 久美子（山口県立総合医療センター 麻酔科）
- P1-66 システム思考で振り返る、40代メラノーマ男性のトータルペイン
光田 栄子（かとう内科並木通り診療所）
- P1-67 仙骨部脊索腫によるトータルペインに対し、薬物療法および多職種連携による非薬物療法にて症状緩和が得られた一例
藤田 晋也（飯塚病院 連携医療・緩和ケア科）
- P1-68 緩和IVRを中心とした多職種・多部門による複合的介入に対する評価指標の検討
梅岡 京子（奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター）
- P1-69 痛みの種類に応じた薬剤調整と、多角的アプローチの有用性～適正なオピオイド使用で症状を緩和する
前田 薫（日本橋かきがら町クリニック）
- P1-70 終末期がん患者における筋筋膜性疼痛症候群（myofascial pain syndrome：MPS）とスピリチュアルペイン（spiritual pain：SPP）の関連～がん終末期MPS患者のこえを聴き、希望を支え、そして、つなげる～
朝田 ちあき（北海道消化器科病院）

インターベンショナルラジオロジー(痛み) (P1-71～P1-72) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P1-71 難治性がん性疼痛に対する緩和的IVR治療
西尾福 英之（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR学講座）

P1-72 悪性腸腰筋症候群に対し症状によって異なる対応で放射線治療を行った2例
會津 恵司 (春日井市民病院 緩和ケアセンター)

その他の痛みに関するもの (P1-73~P1-79) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P1-73 がんサバイバーの慢性疼痛に対するグループリハビリテーションプログラムの一例
山田 真紀子 (群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター)

P1-74 オピオイド過量投与に対してナロキソンを用いた症例の検討
石川 彩夏 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、国立がん研究センター中央病院 看護部)

P1-75 担がん患者に発生した化膿性脊椎炎の1例 ~がん骨転移との鑑別と早期診断の重要性~
橋本 光宏 (千葉労災病院 整形外科)

P1-76 患者のこえを聴き、希望を支え、手術に踏み込んだ症例
~難治性神経障害性疼痛とQOL低下をきたした多発性骨髄腫患者に整形外科的手術が奏功した1症例~
中村 康江 (医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院 看護部、日本鋼管病院 緩和ケアチーム)

P1-77 四肢発生悪性骨軟部腫瘍切断後難治性疼痛に対する鎮痛薬使用の検討
戸田 雄 (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科、
国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

P1-78 緩和ケアチームの介入により改善が見られた疼痛コントロール不良Brown tumor合併副甲状腺がんの1例
後藤 麻佑 (東邦大学医療センター大森病院 緩和ケアセンター、東邦大学医療センター大森病院 乳腺・内分泌外科)

P1-79 腹腔神経叢への放射線治療により背部痛の改善を認めた1例
河野 友絵 (埼玉県立がんセンター)

呼吸器症状(呼吸困難、咳など) (P2-1~P2-7) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-1 呼吸困難に対してオピオイドのみではコントロールが困難でミダゾラム併用を必要としたがん患者の要因
奥田 有香 (和歌山県立医科大学附属病院 麻酔科)

P2-2 呼吸困難の緩和に少量ミダゾラム併用が有効であった在宅がん患者事例
引野 雅子 (医療法人社団ほくれあ会 ひきのクリニック)

P2-3 マルチキナーゼ阻害剤 (ハンパニブ) 導入後の肺胞出血に伴う呼吸困難や咳嗽などの症状に対して
デキサメタゾンによる症状緩和が奏功し化学療法が再開可能になった1例
前川 隆彰 (防衛医科大学校病院 緩和ケア室、防衛医科大学校病院 腫瘍化学療法部)

P2-4 ヒドロモルフォンにより苦痛緩和を施した腎癌併発進行性心不全患者の1例
工藤 隆司 (弘前大学医学部附属病院麻酔科)

P2-5 High flow nasal cannulaにより呼吸苦の改善を認めた癌性リンパ管症の一例
森 圭史 (東京大学医学部研究所附属病院 先端緩和医療科)

P2-6 呼吸困難感に対するヒドロモルフォンの有効性および安全性についての検討
八田部 良子 (東京女子医科大学病院 がんセンター、東京女子医科大学病院 薬剤部)

P2-7 緩和ケア病棟において経口摂取の維持を目的に高流量鼻カニューラ酸素療法 (HFNC) を使用した1例
鈴木 優太郎 (静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科)

消化器症状(悪心・嘔吐、腹水など) (P2-8~P2-26) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-8 がん患者におけるオピオイド誘発性便秘の危険因子：単一施設における後方視的検討
神林 祐子 (大阪医科薬科大学薬学部)

P2-9 がん悪液質に対するアナモレリンの使用の実際
市川 靖子 (帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科)

P2-10 抗がん剤に伴う悪心に対する患者アンケート調査からの評価
森 祥史 (医療法人明和病院)

P2-11 胃管、PEG、PTEG、消化管がん終末期における緩和効果の比較検討
桂 長門 (神戸大学大学院 医学系研究科 外科系講座 災害・救急医学分野)

P2-12 頻回のKM-CARTにより大量の腹水を伴う非代償性肝硬変の予後改善の可能性が考えられた1例
高橋 稔之 (宮崎医療センター 緩和ケア内科)

P2-13 悪性消化管閉塞に対する手術療法の現状と問題点
黒崎 亮 (前橋赤十字病院 外科)

P2-14 がん患者の悪性消化管閉塞に伴う難治性の悪心・嘔吐に対してアセナピンが奏功した2例
石原 洋 (湘南鎌倉総合病院 総合内科、横浜市立大学附属病院 緩和医療科)

P2-15 当院における悪性消化管閉塞に対するドレーナージ目的の経皮経食道胃管挿入術 (Percutaneous
Trans-esophageal Gastro-tubing ; PTEG) の実状
大河原 悠 (日立製作所 日立総合病院 緩和ケア内科、日立製作所 日立総合病院 消化器内科)

P2-16 がん終末期である患者の持続する口渴に対し原因検索を行い中枢性尿崩症と診断し治療介入したことで症状の
軽減が得られた1例
橋本 法修 (井上病院 総合内科)

P2-17 消化管閉塞を有するがん患者の悪心にアセナピン舌下錠が奏功し退院可能となった2症例
渡辺 裕之 (JA愛知県厚生連 安城更生病院 薬剤部)

P2-18 当院におけるナルデメジンの使用状況および処方タイミングの経時的変化についての考察
永縄 由美子 (市立室蘭総合病院 緩和ケアチーム、市立室蘭総合病院 内科、総合病院 聖隷浜松病院 緩和医療科)

P2-19 当院における悪性胃十二指腸狭窄に対するステント留置の経験
矢和田 敦 (函館五稜郭病院 消化器内科、函館五稜郭病院緩和ケア科)

P2-20 悪性腹水に対する腹腔静脈シャントの検討
平田 裕久 (松原徳洲会病院 緩和ケアチーム)

P2-21 術後乳糜腹水に対してエチレフリンが有用であった1症例
山本 敏也 (堺市立総合医療センター 緩和ケア科、堺市立総合医療センター 緩和ケアセンター)

P2-22 トラマドールで悪心嘔吐が出現したためコデインリン酸塩に変更したところ症状が改善した1症例
竹内 瑞枝 (自治医科大学附属病院)

P2-23 突然のオピオイド中止により退院症状を認めた2症例
紺野 真緒 (弘前大学医学部附属病院)

P2-24 乳癌末期患者に発症したSMA症候群の一例
野田 咲甫 (永寿総合病院)

P2-25 悪性消化管閉塞に対するオクトレオチド酢酸塩の有効性と効果関連因子の検討
島田 歩 (砂川市立病院 薬剤部)

P2-26 卵巣癌 (巨大嚢胞性腫瘍) を経皮的に穿刺し苦痛症状の緩和が得られた1例
高橋 有我 (二之沢病院)

食欲不振・輸液・栄養・悪液質症候群 (P2-27~P2-38) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-27 緩和ケア病棟に入院した亜鉛欠乏症2例の検討
萩原 彰人 (国立病院機構埼玉病院 緩和ケア内科)

P2-28 がん悪液質に対するアナモレリン塩酸塩と人参養栄の使用経験
岡本 亮 (医療法人明和病院 外科)

P2-29 糖尿病の既往がない終末期がん患者が退院後に高血糖高浸透圧症候群を発症した1例
辻村 恭江 (伊勢赤十字病院 緩和ケア内科)

P2-30 当院における化学療法中患者の味覚異常の現状と課題
浅沼 真樹 (医療法人 明和病院)

P2-31 胃がんによる胃切除術後の新たな食事行動を獲得するための看護支援
—IASM理論を用いた症状マネジメントと患者理解—
村澤 香代（都留市立病院）

P2-32 緩和ケア病棟における終末期大腸癌患者の合併症による在院死亡率の比較
馬見塚 勝郎（鹿児島市医師会 緩和ケア科）

P2-33 終末期がん患者におけるピンチ力測定の意義
伊藤 彰博（藤田医科大学 医学部 外科・緩和医療学講座）

P2-34 アナモレリン投与患者に対する看護師の役割の検討
伊藤 裕美（公立置賜総合病院）

P2-35 当院におけるアナモレリンの初期処方状況
畝 好弘（富山大学附属病院臨床腫瘍部、富山大学附属病院緩和ケアチーム）

P2-36 悪液質を合併した非小細胞肺癌患者に対するアナモレリンの使用経験
石岡 佳子（弘前大学 医学部 附属病院 呼吸器内科・感染症科）

P2-37 当院におけるアナモレリン使用状況の実態調査
鈴木 知則（東京都済生会中央病院）

P2-38 多発性骨髄腫に合併した腓尾節がん、「栄養サポート外来」の栄養介入とアナモレリンが有効であった症例
大原 寛之（日本赤十字社 長崎原爆病院 緩和ケア内科）

倦怠感 (P2-39) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-39 免疫関連有害事象(irAE)による甲状腺機能低下症の症状緩和にヒドロモルフォンを使用していた食道がんの
一症例
宮本 奈穂子（北海道がんセンター緩和ケア内科）

しびれ感 (P2-40) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-40 当院における肺癌化学療法に伴う末梢神経障害の現状
吉峯 晃平（飯塚病院 呼吸器内科）

リンパ浮腫・浮腫・皮膚症状 (P2-41~P2-45) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-41 上大静脈症候群による顔面・右上肢の浮腫に五苓散が有効であった1例
北川 有加（医療法人思誠会 渡辺病院）

P2-42 BTK阻害剤服用中に生じたスティーブンス・ジョンソン症候群の一例
松尾 麻由子（西の京病院）

P2-43 盲腸癌の難治性皮膚病変に対して亜鉛華デンプンの散布とメトロニダゾールを混和した紫雲膏による治療が
有効であった一例
森 竜久（医療法人聖仁会 森病院、医療法人社団 桐和会 東京さくら病院）

P2-44 他科通院と当科1泊入院のモース処置を併用し在宅QOLを改善し得た乳癌の一例
三田 礼子（JCHO神戸中央病院 内科（緩和ケア））

P2-45 メサドンへのスイッチングとナルフラフィン併用により疼痛と共にかゆみが軽減できた1例
栗崎 功己（社会医療法人抱生会 丸の内病院 緩和ケア内科）

口腔の問題 (P2-46~P2-47) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-46 がん専門病棟の病棟看護師が実施する口腔ケアの実態と基本的な口腔ケア教育の取り組み
池長 奈美（国立がん研究センター中央病院 看護部）

P2-47 終末期肺がん患者に合併した水疱性類天疱瘡治療において、ミノサイクリン内服が有効であった一例
大沼 紗希子（公立学校共済組合 東海中央病院 緩和ケア内科）

脊髄圧迫・脳転移・瘻管 (P2-48~P2-49) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-48 肺がんによる転移性脳腫瘍への全脳照射と縦隔リンパ節照射により麻痺が改善し8ヶ月間自宅で妻、母としての
役割を続けられた一例
池田 みき（国立病院機構東京病院 緩和ケア内科、国立病院機構東京病院 放射線診療センター、
国立病院機構東京病院 呼吸器センター、国立病院機構東京病院 看護部）

P2-49 EGFR陽性肺腺癌からの髄膜癌腫症に対するサイバーナイフを用いた緩和的放射線治療
水松 真一郎（総合青山病院 サイバーナイフセンター）

感染症 (P2-50) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-50 自宅療養中にコロナ患者の濃厚接触者となり、入院の受け入れに検討を要した一例
片井 留美（鹿児島共済会南風病院 緩和ケア内科）

貧血・出血・血栓症・血液学的問題 (P2-51~P2-55) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-51 当院における終末期造血器腫瘍患者の輸血状況と予後
武田 亜衣（市立芦屋病院 緩和ケア内科）

P2-52 腫瘍による消化管出血にオクトレオチドが有効であったと考えられた2症例
金島 正幸（静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科）

P2-53 内視鏡的止血に難渋し高気圧酸素治療が有用であった出血性放射線胃炎の一例
中野渡 正行（JA北海道厚生連 札幌厚生病院 緩和ケアセンター）

P2-54 緩和ケア病棟に入院する患者のD-dimer値の傾向
篠原 浩一（吉川中央総合病院 緩和ケア科）

P2-55 自壊創を伴う出血性局所進行乳癌に対し多職種で早期介入しモース軟膏にて局所制御を行った3症例
藤澤 憲良（大阪府済生会野江病院 乳腺外科、大阪府済生会野江病院 緩和ケアチーム）

オンコロジーエマージェンシー (P2-56~P2-58) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-56 当院の救急外来を受診するがん患者の実態調査
清原文（国立病院機構 高崎総合医療センター）

P2-57 Epipericardial fat necrosis（心膜外脂肪壊死）による胸痛を認めた卵巣癌の1例
村松 雅人（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 緩和ケア内科）

P2-58 上気道閉塞の回避目的に緩和的放射線治療を行った超高齢者悪性リンパ腫の一症例
山吹 有香（札幌北楡病院 麻酔科・緩和ケア科）

薬物相互作用 (P2-59) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P2-59 耐糖能異常の出現によりオランザピン、クエチアピンを中断後に離脱症状が出現し、ペロスピロン開始で
離脱症状が改善した一例
長井 友子（昭和大学江東豊洲病院 精神科）

血液検査・画像検査 (P2-60～P2-62)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
------------------------------------	---

- P2-60 抗うつ薬投与により高度の低ナトリウム血症をきたした腎がん末期の一例**
川端 邦裕 (公立学校共済組合東海中央病院 緩和ケアチーム)
- P2-61 進行がんとして当院緩和ケア支持医療センター紹介後の経過で自然退縮を示した3事例**
小池 和彦 (札幌清田病院 緩和ケアセンター 緩和ケア内科)
- P2-62 高槻赤十字病院緩和ケア病棟での末梢挿入型中心静脈カテーテル (PICC) の実施状況**
橋本 典夫 (高槻赤十字病院 緩和ケア科)

がん治療における支持療法 (P2-63～P2-64)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
---------------------------------------	---

- P2-63 乳癌内分泌療法中に生じる関節のこばりを伴う痛みにステロイドが奏効した3例**
森田 真理 (横須賀共済病院 緩和ケア内科)
- P2-64 体表部悪性腫瘍に対する亜鉛華デンプン・紫雲膏併用療法の試み**
古田 弥生 (社会医療法人 頌徳会 日野病院 薬剤課)

抗がん治療:化学内分泌療法 (P2-65～P2-68)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
--	---

- P2-65 外来化学療法室において治療を受けた患者のオピオイド併用の有無による保険薬局への相談内容について
～トレーニングレポートの報告から分かった現状と問題点～**
斎藤 恭正 (厚木市立病院 薬剤部門薬剤科)
- P2-66 オキサリプラチンによる高度の末梢神経障害を来した一事例**
川畑 恵 (勤医協中央病院 緩和ケアチーム)
- P2-67 経口のがん薬物療法を受けている外来患者に対する看護実践の現状と課題**
石黒 結花 (東京歯科大学 市川総合病院)
- P2-68 外来化学療法センター看護師によるがん患者の問診に関する実践知**
長田 智香 (横浜市立大学附属病院 看護部)

抗がん治療:放射線治療 (P2-69～P2-70)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
--------------------------------------	---

- P2-69 放射線治療の粘膜障害による食事摂取困難に対する漢方薬の効果**
木村 公美 (関西電力株式会社 関西電力病院)
- P2-70 免疫チェックポイント阻害剤との併用下で実施した緩和照射の経験**
佐藤 到 (上尾中央総合病院 腫瘍内科)

外科治療 (P2-71～P2-72)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
-------------------------------	---

- P2-71 悪性消化管閉塞に対する緩和手術により長期間の生存期間を獲得できた事例**
小城原 傑 (昭和大学江東豊洲病院 消化器センター、昭和大学江東豊洲病院 緩和ケアチーム)
- P2-72 緩和手術としての胃空腸バイパス術103例の検討**
吉岡 裕一郎 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 一般消化器外科)

その他の痛み以外の身体症状・治療 (P2-73～P2-85)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
---	---

- P2-73 胸腹腔内あるいは後腹膜に巨大な腫瘍を形成し、周囲組織への圧迫をきたした肉腫症例に対する緩和ケアの検討**
春日 真由美 (国立病院機構 埼玉病院)

- P2-74 緩和ケア移行後に消化管悪性狭窄に対する金属ステントが脱落、小腸皮膚瘻を形成した1例**
山田 秀久 (NTT東日本札幌病院 外科)

- P2-75 くも膜下出血を呈し意識障害の診断に難渋した右耳下腺深葉腺様嚢胞癌の一例**
天神 和美 (横浜市立市民病院 緩和ケア内科)

- P2-76 アナモレリン塩酸塩の単施設後方視的観察研究**
松尾 俊宏 (市立芦屋病院 緩和ケア内科)

- P2-77 制吐薬長期使用によりアカンジアを発症したが、中止により速やかに消退した一例**
椿 貴佳 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター、福井大学医学部 第一外科)

- P2-78 一般病棟に入院した糖尿病の既往がある終末期がん患者での低血糖出現割合：単施設後ろ向き観察研究**
柳泉 亮太 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科)

- P2-79 ベッド脚下ロードセルセンサーを用いた進行がん患者における連続モニタリングから明らかになったこと：患者のPerformance Statusの客観的評価は可能か？**
田口 奈津子 (千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科)

- P2-80 当院緩和ケア病棟におけるトルソー症候群の予後～抗凝固薬投与群と非投与群での比較～**
河野 真揮枝 (市立芦屋病院 緩和ケア内科)

- P2-81 縦隔癌による食道気管瘻にて緩和ケアの方針となり1年半以上の生存を得た1例**
吉永 敬士 (社会医療法人シマダ 嶋田病院)

- P2-82 カナダ作業遂行測定を使用し希望に寄り添う作業療法を実施した悪性末梢神経痛腫瘍の1症例**
牛丸 憲史 (社会医療法人抱生会 丸の内病院 リハビリテーション課)

- P2-83 嚥下機能障害の悪化に与える因子**
田原 一樹 (山の辺病院 内科)

- P2-84 内服不能な頭頸部がん患者の腫瘍熱がジクロフェナクナトリウム貼付剤で解熱した1例**
高広 悠平 (市立三次中央病院 緩和ケアセンター)

- P2-85 遅発性の薬剤性アカンジアを疑った一例**
酒井 一介 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 諫早総合病院)

抑うつ・不安 (P3-1～P3-6)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
-------------------------------	---

- P3-1 脳癌患者の自宅退院前の希死念慮**
長井 友子 (昭和大学江東豊洲病院 精神科、昭和大学江東豊洲病院 緩和ケアチーム)

- P3-2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染後に抑うつ状態となり、緩和ケア病棟で心理的サポートを行った一例**
大棟 有紀 (京都桂病院 緩和ケア科)

- P3-3 急性増悪期の脳リンパ腫患者にカナダ作業遂行測定と終末期がん患者に対する作業療法士の実践自己評価尺度を用いた取り組み**
横田 浩輝 (聖マリア病院 リハビリテーション室)

- P3-4 抑うつコントロール中にニボルマブ関連自己免疫性脳炎を発症し診断に苦慮した一例**
外池 祐子 (厚生連長岡中央総合病院 緩和ケアチーム)

- P3-5 終末期がん患者の抑うつ症状に対する看護師のアセスメントツールの活用度と自信度**
前澤 美代子 (山梨県立大学)

- P3-6 終末期がん患者の抑うつ症状に対するアセスメントツールの活用と介入方法および困難経験の実態**
市川 佳子 (山梨大学医学部附属病院)

せん妄・不眠 (P3-8～P3-14)	6月30日(金)13:35-14:35 7月1日(土)13:20-14:20 ポスター会場
--------------------------------	---

- P3-8 当院の緩和ケアチーム介入患者におけるレンボレキサントの使用状況**
山本 兼二 (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 緩和ケアセンター)

- P3-9 終末期がん患者3症例でのせん妄・不穏・嘔気へのアセナピン舌下錠の使用経験とふりかえり
鎮西 美栄子 (杏林大学 医学部付属病院 緩和ケアチーム)
- P3-10 終末期がん患者の死の受け容れは終末期の活動性せん妄に影響する
石塚 啓祐 (国立がん研究センター東病院 緩和医療科)
- P3-11 夜間の就眠目的でプロポフォールを使用することの意義と緩和ケアにおけるプロポフォールの位置付けについて
小柳 史恵 (日本医療伝導会 総合病院 衣笠病院 緩和医療科)
- P3-12 がんサポートチーム (緩和ケアチーム) の緩和ケア医のせん妄治療の役割について
吉野 和穂 (小田原市立病院 緩和ケア科、小田原市立病院 がんサポートチーム)
- P3-13 せん妄ハイリスクスクリーニングシート導入による看護師のせん妄対応への意識の変化
田嶋 友歌 (社会福祉法人 仁生社 江戸川病院)
- P3-14 ハロペリドールを使用中的がん終末期のせん妄において、身の置きどころのなさにビペリデンの併用が有効であった2例
岩崎 誠 (国際親善総合病院 緩和ケア内科)

精神・心理的ケア (P3-15~P3-24) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-15 COVID-19による面会制限の中で患者と家族に行った支援について
泉田 日奈子 (医療法人 明和病院)
- P3-16 化学療法が奏効している経過中に自死した多発性骨髄腫の一例
阿部 大地 (東京さくら病院 緩和ケア内科、東京歯科大学 市川総合病院)
- P3-17 危機状態にある患者への支援：聴くことから、治療に向かうことができた1症例
利田 みゆき (地方独立行政法人 公立甲賀病院)
- P3-18 終末期に自ら臨床心理士介入の枠組みを設定した患者との面談過程
岡村 宏美 (高槻赤十字病院 医療技術部)
- P3-19 苦痛の強い終末期ALS患者の「生きる」を支える入浴への援助
関谷 めぐみ (新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院)
- P3-20 がん患者のストレングスに関する国内の文献研究
名越 恵美 (岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科)
- P3-21 可聴領域外の音源を含むハイレゾ自然音源による自律神経機能の改善が得られやすい進行がん患者の特徴の検討
梅津 和恵 (国立がん研究センター東病院 緩和医療科)
- P3-22 気管切開によるコミュニケーション困難な患者に対して多職種連携を図った経験
照井 悠 (船橋二和病院 リハビリテーション科)
- P3-23 可聴領域外の音源を含むハイレゾ自然音源による進行がん患者の癒し効果及び不安などの症状に対する効果の探索的検討
下津浦 康隆 (国立がん研究センター東病院)
- P3-24 前立腺がん骨転移による両下肢麻痺の患者の意欲改善に目標設定が有効であったと考えられた1例
牧野 毅彦 (福岡みらい病院)

ボディイメージ・セクシュアリティ (P3-25) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-25 コロナ禍におけるアピアランスケア外来で動画と電話相談を利用した非対面工夫の有用性
外川 仁美 (市立旭川病院 東7階病棟)

スピリチュアルケア・宗教的ケア (P3-26~P3-28) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-26 二次治療以降の化学療法を受ける手術不能な肺がん患者のがん看護専門看護師が行うスピリチュアルケア
工藤 穂奈美 (岩手県立中央病院 看護部、岩手県立大学大学院 看護学研究科 博士前期課程)

- P3-27 若い乳癌患者が表出する自律性のスピリチュアルペインに対しチームで傾聴と共感だけでなく“ともにいること”を大切にすることで自律性の回復と存在意味の回復を見出した症例
金村 誠哲 (高槻赤十字病院 緩和ケア科、高槻赤十字病院 看護部)
- P3-28 がん患者が抱えるスピリチュアルペインとそれに対する多職種連携に向けて
成澤 沙恵 (岩手医科大学 看護学部 看護専門基礎講座)

家族のケア・子どものケア (P3-29~P3-36) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-29 若年介護者の発達課題達成へとつながった関わり 介護への不安を聴取し共に実践
山城 美香 (沖縄協同病院 看護部)
- P3-30 壮年期のがん患者の家族ケアを経験した一例
久保 佳子 (長野市民病院 緩和ケア内科)
- P3-31 緩和ケア病棟におけるコロナ禍の面会制限の影響-家族看護を行う看護師の抱える困難について-
藤本 洋子 (医療法人協和会 千里中央病院)
- P3-32 高齢がん患者の家族のゆるる気持ちへの関わり
高仲 雅子 (日本医科大学多摩永山病院 看護部)
- P3-33 主介護者がヤングケアラーであった末期癌患者の終末期在宅看護
棕橋 邦子 (訪問看護ステーションあおいそら)
- P3-34 在宅サービスに対し抵抗感を示した筋萎縮性側索硬化症療養者の主介護者における心理的変化
古川 博章 (訪問看護ステーションほつぷ)
- P3-35 双胎妊娠の1児に致死胎の奇形を認めたと家族と十分に協議したことで患児に対し胎児緩和ケアを行えた1例
山下 優 (京都府立医科大学附属北部医療センター)
- P3-36 未成年の子どもがいるがん患者・家族の不安に対する面談の予備的有用性：単施設前向き観察研究
小嶋 リベカ (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

遺族のケア (P3-37~P3-44) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-37 外来看護師による遺族グリーフケア効果
中川 吉恵 (社会医療法人 高瀬会 高井病院 看護部)
- P3-38 申し送りシートを用いた葬儀社との連携の必要性～遺族ケアに繋げるために～
溝上 千代美 (一般社団法人 朝倉医師会病院)
- P3-39 緩和ケア病棟での待機死亡確認に関する遺族調査
深夜帯の死亡確認を翌朝行うことは家族の心理的負担となるか？
児玉 祐希子 (筑波メディカルセンター病院 緩和医療科)
- P3-40 グリーフケアスペース川崎活動報告 —COVID-19禍における対面グループ活動の意義—
福島 沙紀 (一般社団法人 プラスケア)
- P3-41 性別違和の受容と治療が鍵となった遺族外来での一症例
名倉 美樹 (ホームケアクリニック札幌)
- P3-42 コロナ禍での遺族会～初のオンラインでの試み～
田中 美奈子 (東京都立病院機構 がん・感染症センター 都立駒込病院 看護部)
- P3-43 成人期にがんて夫を亡くした妻の体験
井原 真利子 (松江市立病院)
- P3-44 病院正面玄関から死亡退院することが与える遺族感情への影響
～旧病院(完全独立型)と新病院(院内病棟型)での調査結果の比較で考察される変化～
吉村 真一朗 (聖ヨハネ病院)

**相談支援・がんカウンセリング
(P3-45~P3-46)**

6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-45 外来から継続した関わりでつながること ~意思決定を外来から支える~**
嘉陽 嘉世 (中頭病院 医療相談室)
- P3-46 がん告知支援時におけるGrissoの意思決定能力評価と年齢との相関**
米谷 晶子 (社会医療法人きつこう会 多根総合病院)

**ピアサポート・患者会・家族会
(P3-47~P3-48)**

6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-47 コロナ禍におけるピアサポート活動の課題とポストコロナに向けた方策**
大野 裕美 (名古屋市立大学大学院 医学研究科)
- P3-48 がん治療後高齢がんサバイバーの患者会に対する認識と長期生活支援についての一考察**
松田 芳美 (やまがた健康推進機構 山形県がん総合相談支援センター、
山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程)

**社会的・経済的問題・就労の問題
(P3-49~P3-51)**

6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-49 新型コロナウイルス流行下での緩和ケア病棟の面会に関する考察**
小原 弘之 (廿日市記念病院 内科)
- P3-50 総合診療外来に通院中のがん終末期外来患者の経済毒性と患者中心性についての検討**
加藤 利佳 (医療法人深仁会 手稲家庭医療クリニック 診療科)
- P3-51 喉頭摘出術を受ける頭頸部がん患者がシャント発声によって「自分の声」を取り戻す過程に関する質的研究**
岩井 美世子 (名古屋大学大学院 医学系研究科 高度実践看護開発学分野 博士後期課程)

**その他の精神・心理・社会的ケア・スピリチュアルケア
(P3-52~P3-66)**

6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P3-52 緩和ケアにおけるアロマセラピーマッサージの効用の概念分析**
石井 友恵 (早稲田大学大学院 人間科学研究科)
- P3-53 患者の理解・判断の特性を把握するための前頭葉機能検査の試み**
川畑 恵 (勤医協中央病院 緩和ケア科)
- P3-54 簡易で支持的な回想法の終末期がん患者への適用**
吉村 哲規 (東京都立大塚病院 緩和ケアチーム)
- P3-55 解離性健忘症を婦人科がん経過中にきたした一症例**
高橋 孝郎 (埼玉医科大学国際医療センター支持医療科)
- P3-56 スtent治療によりスピリチュアルペインが緩和した一例**
平野 美穂 (社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院)
- P3-57 生前に本人から臓器提供の希望があり、献眼に至った肺がん患者の一例**
大竹 健人 (国立がん研究センター東病院 緩和医療科)
- P3-58 肺がん進行期で生活支援が必要な中、生活への思いを聴き、自律可能な施設へ居住変更した一例**
江田 清一郎 (松本協立病院 呼吸器内科)
- P3-59 精神疾患を有するがん患者の診断時期における意思の表明、意思決定支援
~臨床倫理コンサルテーションチームと連携した2症例~**
千田 操 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 緩和ケアチーム、看護部)
- P3-60 緩和ケア病棟においてカルバマゼピンが有効であったBPSD例**
永田 真知子 (医療法人社団 医仁会 ふくやま病院 緩和ケア外科)

- P3-61 AYA世代の入所者を亡くした児童養護施設でカンファランスを開催した一例**
酒井 達也 (沖縄県立八重山病院 総合診療科)

- P3-62 消えてなくなりたいと話した難病患者のインタビューを通じて見えてきた心の変化**
黒島 望 (沖縄県立八重山病院 看護部)

- P3-63 不安を抱えきれない肺癌患者とその家族の終末期対応に難渋した症例**
菅野 桂子 (NTT東日本 関東病院)

- P3-64 中学校教師である患者と市立中学校をつないだオンラインでの命の授業**
津留 世里 (井田病院 緩和ケア内科)

- P3-65 終末期がん患者が透析をやめるとき~いつ、誰が、誰に、どのように伝えたか~30例の検討**
高田 一哉 (医療法人平和会 平和病院 緩和ケア科、医療法人平和会 平和病院 緩和ケア病棟)

- P3-66 終末期に躁状態を発症した肺がんの一例**
佐藤 浩二 (さとう内科クリニック)

**在宅緩和ケア
(P4-1~P4-33)**

6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-1 在宅緩和ケアを受けた終末期がん患者の実態調査**
坂 啓子 (シティ・タワー診療所)
- P4-2 同一法人施設連携による在宅緩和ケア介入の試み一切れ目のない緩和ケアを目指して一**
大呂 昭太郎 (鳥取生協病院 緩和ケア科、すえひろ生協診療所)
- P4-3 ケミカルコーピングが疑われた在宅療養中の肺癌の1症例**
中村 幸生 (医療法人優幸会 中村クリニック)
- P4-4 当院における終末期がん患者に対する鎮静についての現状と課題**
五味 一英 (桜新町アーバンクリニック)
- P4-5 当クリニックにおけるPCAポンプを用いた在宅がん疼痛治療の現状と有用性**
安江 敦 (木の香往診クリニック中川)
- P4-6 4ヶ月の関わりの中でK氏が死を受容し、よりよくターミナルを支援した関わりの一考察**
島瀬 順江 (一般社団法人黒衣 訪問看護ステーション黒衣)
- P4-7 クリニック内の緩和ケアチーム立ち上げと今後の課題**
谷澤 久美 (医療法人ミナテラス かすかひクリニック)
- P4-8 終末期がん患者のケアを担う訪問看護師の困難感に対応する病院看護師に求められる役割**
大杉 智子 (社団医療法人 啓愛会 孝仁病院 看護科)
- P4-9 終末期患者のせん妄に対してプロナセリン貼付剤の当院の使用経験**
福田 眞茂 (医療法人社団双寿 ちくさ会クリニック)
- P4-10 癌終末期患者に対する在宅訪問診療でのIntegrated Distress Activity Score (IDAS) による客観的評価の試み**
佐伯 修二 (ホームケアクリニック横浜港南)
- P4-11 がん患者における訪問診療移行後の薬剤負荷に関する実態調査：単施設後方的研究**
餅原 弘樹 (医療法人社団いぶきの森 のぞみの花クリニック)
- P4-12 COVID-19感染症にて自宅隔離中にテレビ通話アプリケーションを医療者側から導入し、自宅看取りまで安心して過ごせた終末期肺がんの1症例**
竹内 友朗 (医療法人 明笙会 たけうち内科)
- P4-13 在宅医療で悪性腸閉塞に対してオクトレオチドを投与した8例の検討**
開田 脩平 (医療法人みらい みらい在宅クリニック港南)
- P4-14 家族の入院希望時、新型コロナウイルス感染をし在宅での看取りに至った結果、家族が満足した症例**
佐伯 尚美 (医療法人社団 いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケアチーム)
- P4-15 外来化学療法中からの訪問看護の導入ががん患者と家族にもたらす効果**
皆川 美穂 (医療法人社団 林山朝日診療所 訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST)

- P4-16 **当院で在宅緩和ケアを行った泌尿器がん症例の検討**
鈴木 賢次郎 (ふたば訪問クリニック、浅草泌尿器科クリニック)
- P4-18 **薬剤師が医師往診に同行しオピオイドの便秘と便秘治療薬による腹痛を回避できQOL改善に至った一症例**
杉本 初枝 (イクチ天心堂薬局、ヒジリ田薬局)
- P4-19 **在宅医療を行う医療機関が地域に増える中で自院の役割の明確化に向けた取り組み事例**
三枝 正彦 (医療法人社団やまぶき訪問クリニック)
- P4-20 **在宅医療を受ける終末期がん患者における初回訪問診療への薬局薬剤師同行の意義**
谷口 允文 (在宅ケア薬局)
- P4-21 **ウェアラブルデバイスによる在宅がん患者の心拍変動モニタリングの試み**
田中 啓 (医療法人社団プラタナス 松原アーバンクリニック)
- P4-22 **介護施設でACPをもとに末期心不全の利用者の退院調整と看取りケアを行った一例**
齊藤 麻衣 (SOMPOケア そんぼの家交野)
- P4-23 **終末期看護における訪問看護師の困難感に関する文献的考察**
岩月 まり子 (秋本クリニック 訪問看護ステーション)
- P4-24 **在宅持続皮下注射を通して分かったこと～家族も多職種連携の一員に位置づけてみて～**
宮武 佳菜枝 (おかもと訪問看護ステーション垂水)
- P4-25 **在宅医療におけるがん患者の終末期過活動せん妄の薬物治療の実態調査**
阿部 晃子 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室、国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)
- P4-26 **患者・家族の“家に帰りたい”を支える緩和ケアチーム訪問診療の取り組み**
奥山 奈穂子 (JA秋田厚生連 平鹿総合病院)
- P4-27 **在宅がん終末期の症状緩和に小建中湯が有効だった2症例**
遠藤 光史 (メディケアクリニック石神井公園、東京医科大学病院 緩和医療部)
- P4-28 **在宅において、経静脈治療に依らず、難治性嘔気と痙攣を安全にコントロールできた一例**
加藤 誠二 (ゆめクリニック)
- P4-29 **在宅療養において最期までその人らしさを大切に支えることができた1例**
梶 愛子 (かほく高松訪問看護ステーション)
- P4-30 **過去3年6か月間の訪問診療開始後24時間以内の自宅死亡15例の検討**
渡辺 啓太郎 (栄光病院 在宅医療センター)
- P4-31 **CVポートからの低流量単独持続静注によるオピオイド投与で疼痛コントロールを行い、本人家族の希望通り在宅療養を叶えられた二事例**
児玉 麻衣子 (福井大学医学部附属病院 緩和ケアチーム、オレンジホームケアクリニック)
- P4-32 **当院における訪問診療についての検討**
塩原 正之 (千葉市立海浜病院)
- P4-33 **在宅でケタミン使用時の地域連携と投与方法の工夫**
服部 晋司 (益田赤十字病院 外科)

退院支援・退院調整 (P4-34～P4-48) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-34 **コロナ禍の退院後自宅看取りを支援した病院看護師と訪問看護師の連携と効果～病院から自宅へのシームレスな支援を考える**
中村 久美 (宮崎県看護協会 訪問看護ステーションなでしこ3号館)
- P4-35 **予後予測を上回る長期予後が得られたものの退院支援に難渋した3例**
飯塚 顕 (特定医療法人 新生病院)
- P4-36 **iPOS患者版から在宅療養調整の意義を把握できた直腸癌術後再発の一例**
小西 治子 (日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)
- P4-37 **当院緩和ケア病棟開設後の在宅復帰状況について**
鈴木 誉也 (北海道がんセンター 緩和ケア内科)

- P4-38 **コロナ禍における在宅緩和医療の取り組み**
安藤 勤 (徳島県立三好病院 緩和ケア内科)
- P4-39 **慢性心不全患者へ「よりよく生きる」を軸にした退院支援を行った症例**
湯川 舞 (射水市民病院)
- P4-40 **コロナ禍における進行がん患者の在宅医療に関する患者および家族の意向調査**
宮田 佳代子 (国立がん研究センター 中央病院 患者サポートセンター)
- P4-41 **当院の退院支援ワーキングの活動報告～退院支援、退院調整における看護師の実践力向上を目指した取り組み～**
高野 綾子 (医療法人社団 杏順会 越川病院)
- P4-42 **緩和ケア病棟から計画的に再入院日を決め退院、在宅移行としたが予定変更となった3例**
高久 秀哉 (水戸済生会総合病院 緩和ケア内科)
- P4-43 **独居HIV患者のがん終末期の療養場所について**
大武 優希 (国立国際医療研究センター病院 消化器内科)
- P4-44 **事前に多職種連携したことで(意思決定から)短時間で在宅療養の調整・移行をした一例～がん専門相談員だからこそできた支援～**
岩崎 奈々子 (沖縄県立八重山病院 看護部)
- P4-45 **入院前問診カウンターの設置による早期退院支援の導入～退院調整看護師とメディカルソーシャルワーカーによる経済的問題を抱える患者への実際～**
永田 智子 (愛知県がんセンター 地域医療連携・相談支援センター 医療連携室)
- P4-46 **がん治療中に新型コロナウイルス感染症に感染した患者・家族の意思決定支援**
岩坪 貴寛 (鹿児島市立病院)
- P4-47 **胸腔ドレーンを留置した状態で自宅退院することができた2症例**
黒坂 夏美 (上尾中央総合病院)
- P4-48 **糖尿病性足壊疽による敗血症で緊急入院後下肢の切断ではなく緩和ケアを希望した事例への意思表示支援**
野口 忍 (社会医療法人 仙養会 北摂総合病院 入院支援室)

緩和ケアにおける地域連携 (P4-49～P4-74) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-49 **在宅医療における携帯型ディスプレイ注入ポンプ(クーデックエイミー PCA)を用いた連携活動**
上川 竜生 (上川ペインクリニック)
- P4-50 **エキスパートの力を地域へ!! 緩和ケアにおけるオンライン相談の有効性の検討ーリンパ浮腫ケアのオンライン相談が有効であった事例よりー**
光田 栄子 (かとう内科並木通り診療所)
- P4-51 **在宅緩和ケア介入の橋渡し～在宅緩和ケア医が大学病院で緩和ケア外来を行う意義～**
中村 明澄 (医療法人社団澄乃会 向日葵クリニック)
- P4-52 **地域を越え想いを紡いだ在宅支援**
古池 きよみ (公立藤岡総合病院)
- P4-53 **緩和ケア病棟の在り方を考える 緩和ケア病棟退院時に、地域多職種とチームを組んで支える 地域における急性期運用の緩和ケア病棟の役割**
吉村 純彦 (国立病院機構 姫路医療センター 緩和ケアセンター)
- P4-54 **訪問看護師ががん患者の看護サマリーに求める内容-看護連携の充実を目指して-**
世利 佐知子 (国家公務員共済組合連合会 千早病院)
- P4-55 **当院緩和ケアにおけるがん患者の診療実態～自宅・施設・病院を活用して～**
青石 裕香 (愛晋会 中江病院)
- P4-56 **がん診療連携非拠点病院で緩和医療認定医がみた緩和ケア提供体制の実態と課題**
小屋 紘子 (善衆会病院 内科)
- P4-57 **地域中核病院を結ぶ緩和ケアテレカンファレンスの取り組み**
鴻巣 正史 (岩手医科大学 医学部 緩和医療学科)

- P4-58 在宅終末期患者に関する地域多職種カンファレンスを定期開催した試み**
柳原 恵梨 (谷田病院 内科・緩和ケア科)
- P4-59 在宅緩和ケア推進モデル事業 (愛媛県西条市) と当院緩和ケアチームの課題**
立石 さち (済生会西条病院 緩和ケアチーム)
- P4-60 当院緩和ケアチームの地域への取り組みと役割**
田辺 義明 (新百合ヶ丘総合病院 外科、新百合ヶ丘総合病院 緩和ケアチーム)
- P4-61 「家で過ごしたい」患者・家族を支えるために**
上條 佳子 (社会医療法人財団慈恵会相澤病院)
- P4-62 新型コロナウイルス感染症 (Coronavirus Disease 2019 : COVID-19) 流行早期におけるがん診療および緩和ケア診療に対する影響**
岩津 慎次郎 (公立陶生病院 医療技術局 薬剤部、公立陶生病院 緩和ケアセンター)
- P4-63 AYA世代で発症した切除不能大腸癌患者の長期治療を多施設協働で全人的苦痛を緩和し支えた一事例**
長瀧 恵 (公益財団法人慈愛会 今村総合病院 緩和ケアチーム)
- P4-64 出産直後に予後1ヶ月と告知された胃がん患者が家族と助産院で過ごした事例を通して感じた地域連携の重要性**
加藤 めぐみ (神戸大学医学部附属病院 看護部)
- P4-65 緩和ケア病棟と在宅医療機関との事例検討会のコロナ禍前後での開催形式と内容の変化についての検討**
伊藤 浩明 (岐阜県立多治見病院)
- P4-66 オピオイド鎮痛薬の持続投与をディスプレイブルシュアフェューザーで継続して、在宅ケアにつなげる当院の取り組み**
権 哲 (済生会滋賀県病院 疼痛・緩和ケア科)
- P4-67 岐阜県東部地域がん診療拠点病院における遠距離通院の肺癌患者の地域連携**
志津 匡人 (岐阜県立多治見病院 呼吸器内科)
- P4-68 緩和ケア病棟における外来在宅共同指導カンファレンス開催の現状と課題**
松長 成美 (厚生連高岡病院 緩和ケアセンター)
- P4-69 緩和照射に対する病棟連携の取り組み**
児玉 秀治 (三重県立総合医療センター 緩和ケアチーム)
- P4-70 大阪府下における難治性がん疼痛に対する症状緩和治療の実施状況調査**
相木 佐代 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 緩和ケア内科、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター ケアサポートチーム)
- P4-71 亡くなる前日に在宅看取りに意向が変わった終末期がん患者の在宅療養支援**
山田 仁映 (福井県済生会病院)
- P4-72 高用量メサドン内服患者を臨死期に緩和ケア病棟で引き継ぎ治療に難渋した一事例**
荒井 祥子 (東京衛生アドベンチスト病院)
- P4-73 在宅緩和ケアにおけるICT情報共有ツール利用の地域アンケート調査**
村上 望 (厚生連高岡病院 緩和ケアセンター)
- P4-74 在宅緩和ケアにおけるICT情報共有ツールの患者・家族個人端末利用の試み**
村上 望 (厚生連高岡病院 緩和ケアセンター)

小児・若年者の緩和ケア (P4-75~P4-84) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-75 小児非がん患者における在宅看取りについての2事例報告**
鷹津 英 (医療法人社団 清水メディカルクリニック)
- P4-76 AYA世代のがん患者の緩和ケア介入の現状と課題**
三浦 美和子 (国際医療福祉大学大学院 医学研究科、東京都済生会中央病院 がん診療統括センター)
- P4-77 当院におけるAYAサポートチームの院内活動の報告**
野浦 綾乃 (岐阜市民病院)
- P4-78 医療過疎地域にて在宅で看取った小児悪性腫瘍終末期患児を振り返って**
山田 武志 (飯田市立病院 緩和ケア内科、飯田市立病院 緩和ケアチーム)

- P4-79 成人先天性心疾患患者の終末期緩和ケアの1症例**
永井 義浩 (京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室)
- P4-80 がん医療におけるヤングケアラー：文献レビュー**
大谷 弘行 (聖マリア病院、九州がんセンター)
- P4-81 小児ステロイド精神病の再燃予防に対してリスペリドンが奏功した一例**
牧野 哲平 (岐阜市民病院 薬剤局 薬剤部、岐阜市民病院 緩和医療センター)
- P4-82 急速に変化する状態を予測しつつ患者の意向を尊重したEnd of Life ケアを行ったAYA世代患者の一例**
藤田 恵 (愛知県がんセンター 緩和ケアセンター /看護部)
- P4-83 AYA世代の意思決定支援における緩和ケアチームの役割についての一考察**
白石 朝子 (産業医科大学病院 緩和ケアセンター)
- P4-84 小児がん患者に在宅移行について説明するためのリーフレット作成の試み**
清水 麻理子 (国立がん研究センター 中央病院 患者サポート がん相談支援センター)

高齢者の緩和ケア (P4-85~P4-89) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-85 90歳以上の超高齢者に対する小線源治療の初期経験**
吉田 謙 (関西医科大学総合医療センター 放射線科、関西医科大学附属病院 放射線治療科)
- P4-86 認知症があるがん患者の推定意思決定のプロセスに必要なもの**
京林 裕美 (社会医療法人仙養会 北摂総合病院)
- P4-87 緩和ケア病棟入院中に硬膜下血腫除去術を施行しQOLの改善が得られた90歳台皮膚癌の1例**
草田 武朗 (沖縄赤十字病院 緩和ケアチーム、沖縄赤十字病院 放射線科、琉球大学病院 放射線科)
- P4-88 高齢者悪性リンパ腫患者に対する緩和的抗癌剤治療によりQOLの向上を達成し得た一例**
三澤 恭平 (順天堂大学 医学部附属 順天堂静岡病院)
- P4-89 当院緩和ケア病棟における超高齢者症例の検討**
砥石 政幸 (戸田中央総合病院 緩和医療科)

非がん患者の緩和ケア(認知症) (P4-90) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-90 ソーシャルワークの実践によって、娘さんの居宅介護での看取りとなった、認知症・生活保護受給者の1例**
洲脇 直己 (社会医療法人 健生会 土庫病院)

非がん患者の緩和ケア(呼吸器疾患、心疾患) (P4-91~P4-97) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-91 高齢慢性心不全患者に関する文献レビューによるQOLの状況と関連要因の検討**
小林 美喜 (茨城キリスト教大学 大学院 看護学研究科、公益財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院)
- P4-92 二次性僧帽弁閉鎖不全症による心不全の症状緩和目的に経皮的僧帽弁クリップ術を施行した症例より心不全の治療選択と緩和医療について考察する**
菅野 帆華 (近畿大学病院)
- P4-93 当院における病診連携中の肺がん患者の最終入院の実態～肺がん患者の在宅看取りを妨げる要因の検討～**
中島 治典 (大垣市民病院 呼吸器内科)
- P4-94 持続鎮静を離脱した心不全患者の一事例**
矢間 友美 (鳥取大学医学部附属病院 緩和ケアチーム)
- P4-95 塩酸モルヒネの自己抜針に対する取り組みと分析**
大口 千穂 (東宝塚さとう病院 薬剤室)

- P4-96 **在宅看取りとなった末期心不全患者の家族支援の一例**
～患者の思いを家族と共有した多職種カンファレンスを振り返って～
内田 寿恵（秦野赤十字病院 看護部）
- P4-97 **急変リスクの高い終末期の非がん患者に対して、症状緩和とアドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関与した1症例**
藤原 恵（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）

非がん患者の緩和ケア(腎疾患、その他)
(P4-98～P4-100) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-98 **3年間における当院の胃代替療法選択外来受診時点での患者希望と、保存的胃置療法を選択した患者のその後の希望変更や緩和ケア提供状況等に関する検討**
坂井 正弘（東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科）
- P4-99 **脊椎疾患に伴う慢性疼痛への心身ケア～セルフコントロールを促進する関わり～**
奥成 亜矢佳（一般財団法人 住友病院）
- P4-100 **当院の非がん患者に対する緩和ケア**
黒崎 史朗（自治医科大学 緩和ケア科、自治医科大学 呼吸器内科、自治医科大学 緩和ケアチーム）

非がん患者の緩和ケア(COVID-19感染症)
(P4-101～P4-105) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-101 **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下での看取りにおける看護師のバーンアウト**
安川 夏江（下関市立市民病院）
- P4-102 **新型コロナウイルス感染症病棟に配属された、緩和ケア関連認定看護師の役割**
尾形 良子（行徳総合病院）
- P4-103 **CAR-T療法後に生じたCOVID-19肺炎と帯状疱疹の症状緩和にモルヒネ持続静注が効果的であった悪性リンパ腫の1例**
早瀬 一馬（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）
- P4-104 **ICUにおいて長期間人工呼吸器及び鎮静管理となったCOVID-19患者に対して緩和ケアチームが介入した1例**
塩満 多華子（鹿児島市立病院）
- P4-105 **単科精神科病院においてCOVID-19肺炎による呼吸困難に対し、モルヒネ坐剤を使用して症状緩和が得られた症例**
高橋 陽（医療法人白百合会 大多喜病院 診療部）

集中治療での緩和ケア
(P4-106～P4-110) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-106 **集中治療室において担癌患者の術後急性期治療に緩和ケアチームが介入した1例**
倉吉 和夫（鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケア科、
鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 緩和ケアチーム）
- P4-107 **思いを「つなぐ」よどこまでも「ICU入室から多部門で支え繋ぐ終末期」～余命を故郷で過ごしたいという意思決定を支えた1事例～**
藤合 扶美江（社会医療法人若弘会 若草第一病院 看護部）
- P4-108 **集中治療室における緩和ケアの質評価指標：システムティックレビュー**
田中 雄太（東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野）
- P4-109 **集中治療室（ICU）での意思決定に関する倫理的風土の調査票作成に関する研究（第1報）**
木下 里美（関東学院大学 看護学部）
- P4-110 **救急・集中治療領域の患者に対して、患者の推定意思をもとに、延命措置の中止として抜管を行った3例**
三井 恵（東京都立墨東病院 集中治療科）

その他の地域・在宅緩和ケアと特定集団に対する緩和ケア
(P4-111～P4-119) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P4-111 **完全独立型緩和ケア病院における地域基幹病院との放射線治療の連携**
渡部 秀樹（鈴鹿医療科学大学附属校の森病院、鈴鹿医療科学大学看護学部）
- P4-112 **機械学習による知的障がい者の体調管理と受診支援**
嶋田 和貴（京都大学 医学部 附属病院 緩和医療科）
- P4-114 **当院におけるタブレット端末、Face Timeを用いた在宅療養支援活動について**
八代 英子（新宿ヒロクリニック）
- P4-115 **A市立図書館利用者におけるACPと緩和ケアに関する意識調査**
原 直子（独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院）
- P4-116 **血液疾患の看取りの場所を考える：コロナ禍前後での終末期療養先の比較と早期チーム介入や二人主治医制の試み**
栗林 泰子（日本医科大学多摩永山病院 血液内科、河北医療財団多摩事業部 あいきクリニック）
- P4-117 **緩和ケア病棟における生活保護受給者の終末期医療の現状と課題**
鶴賀 哲史（がん・感染症センター 都立駒込病院）
- P4-118 **リモートを活用した離島緩和ケア連携・鹿児島県奄美大島の場合**
元田 陽子（鹿児島県立 大島病院）
- P4-119 **がんを合併した統合失調症患者のケアマレーシアと日本の比較—**
荒井 春生（佐久大学 看護学部 看護学科）

予後予測
(P5-1～P5-5) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-1 **当院緩和ケア病棟（ゆいけお病棟）におけるツールを用いた予後予測の実態**
友利 健彦（沖縄赤十字病院 緩和ケア科）
- P5-2 **ニボルマブ治療後に上顎癌末期と診断され、緩和ケア病棟に入棟後 Pseudo-Progressionを生じた1症例**
木下 真弓（聖隷横浜病院 麻酔科）
- P5-3 **当院緩和ケア病棟にレスパイト入院した死亡退院例の転帰を予見する因子の検討**
小坂 太祐（山形県立河北病院 緩和ケア科）
- P5-4 **骨転移に対する緩和的放射線治療を行った患者の生命予後予測：3-variable number of risk factor modelと新片桐スコアリングシステムの比較**
櫻井 孝之（金沢大学附属病院 放射線治療科）
- P5-5 **がん患者における予後予測スコアと生存期間に関する検討**
安永 ちはる（愛知医科大学病院）

看取りの前後のケア
(P5-6～P5-8) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-6 **意思疎通が困難な終末期患者に寄り添った看護実践**
松下文菜（大阪大学 医学部 附属病院）
- P5-7 **遺体の変化を理解したエンゼルメイクの標準化～エンゼルメイクに関する勉強会を行って～**
高橋 真由美（医療法人和同会 広島シーサイド病院）
- P5-8 **緩和ケア病棟における転倒による重大事象の頻度に関する大規模多施設共同前向き観察研究（EASED study）**
大谷 弘行（聖マリア病院、九州がんセンター）

苦痛緩和のための鎮静
(P5-9～P5-12) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-9 **鎮静開始に関する自施設の現状と課題**
植 瀬里奈（福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター、福井大学医学部附属病院 看護部）

- P5-10 緩和ケア病棟看護師が捉えた“終末期がん患者の鎮静に向けた意向”
浅野 博美 (徳島県立三好病院)
- P5-11 終末期がん患者の鎮静に携わる看護師の鎮静に関する認識
浅野 暁俊 (新潟県立中央病院 看護部)
- P5-12 持続的鎮静のための基準書を導入しての効果
緒方 幸恵 (聖マリア病院 聖母ホスピス病棟)
- ホスピス・緩和ケア病棟 (P5-14~P5-48)
6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場
- P5-14 COVID-19が緩和ケア病棟での看取り時の立ち会いに及ぼした影響についての考察～単一施設後方的研究
寺林 徹 (日本バプテスト病院 ホスピス)
- P5-15 緩和ケア病棟入院患者の生存期間分布の検討 ～北海道内緩和ケア病棟多施設共同研究結果～
小田 浩之 (独立行政法人労働者健康安全機構釧路労災病院 緩和ケア内科)
- P5-16 地域から望まれる緩和ケア病棟になるための現状と課題
渡邊 哲也 (公立西知多総合病院 緩和ケア外科)
- P5-17 COVID-19の流行による当院緩和ケア病棟スタッフへの影響
川島 正裕 (市立岸和田市民病院 緩和ケア内科)
- P5-18 地域医療機関のニーズに合わせた緩和ケア病棟の設立まで
高橋 稔之 (宮崎医療センター 緩和ケア内科)
- P5-19 緩和ケア病棟における「スイーツフェア」の取り組み
田口 雄也 (東北大学病院 栄養管理室)
- P5-20 NICUから緩和ケア病棟に転棟し看取りを行った18トリソミーの患児への関わりを通して明らかになった医療者の思い
畑野 愛美 (国立成育医療研究センター)
- P5-21 小さな病院の緩和ケア病棟における集団音楽療法の取り組み～ようこそ、音楽カフェへ～
中村 知子 (医療法人社団医仁会ふくやま病院)
- P5-22 緩和ケア病棟入院時の歩行可能な進行/遠隔転移高齢がん患者のQOLは低い
添田 遼 (医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院、慶應義塾大学大学院 医学研究科 医学系研究専攻 博士課程)
- P5-23 多職種で皮膚ケアと家族ケアに関わった菌状肉肉症の1例
土肥 愛子 (市立芦屋病院 緩和ケア病棟)
- P5-24 当院緩和ケア病棟における、終末期薬剤投与について
鈴木 誉也 (北海道がんセンター 緩和ケア内科)
- P5-25 緩和ケア病棟終末期がん患者に対してアセトアミノフェン静注液の皮下投与を行った事例の結果報告
松井 遊香 (名古屋徳洲会総合病院)
- P5-26 緩和ケア病棟におけるがん終末期患者の入浴ケアに携わる看護師へのアンケート調査
大嶋 和恵 (医療法人 愛和会 愛和病院 看護部)
- P5-27 当院緩和ケア病棟の現状と今後の課題
冬木 晶子 (新百合ヶ丘総合病院 緩和ケア内科)
- P5-28 多職種カンファレンスでジレンマメソッドを活用した取り組み
菊地 肇 (兵庫県立丹波医療センター 緩和ケア病棟、兵庫県立丹波医療センター 看護部)
- P5-29 コロナ禍で家族面会を継続した当院緩和ケア病棟の報告
瀧井 康 (製鉄記念八幡病院 緩和ケア内科)
- P5-30 緩和ケアの質の再評価と今後の課題～コロナ禍に遺族調査を実施して～
片山 典子 (大阪鉄道病院 5階病棟)
- P5-31 緩和ケア病棟における退院希望達成状況からみる在宅移行阻害要因に関する考察
川居 利有 (社会医療法人きつこう会多根総合病院 臨床心理士)

- P5-32 当院の緩和ケア病棟における専従医の役割とその効果
中山 啓 (高岡市民病院 緩和ケア内科)
- P5-33 緩和ケア病棟に入院した脳転移を有する症例の検討
西里 卓次 (札幌清田病院 緩和ケアセンター 緩和ケア内科)
- P5-34 小児専門施設における緩和ケア病床の運用の実態と利用患者の特徴
西川 英里 (国立成育医療研究センター 緩和ケア科)
- P5-35 緩和ケア病棟で死亡したがん患者遺族によるケアの質の評価
大塩 瑞穂 (南部厚生病院)
- P5-36 コロナ禍におけるイベント再開に向けた取り組みと今後の課題【第2報】
齋藤 陽一 (札幌清田病院 緩和ケア病棟)
- P5-37 当院緩和ケア病棟におけるインターベンショナル治療の現状
田本 秀輔 (沖縄赤十字病院 外科 緩和ケア)
- P5-38 緩和ケア病棟自施設評価共有プログラムを用いた、ケアの質向上の取り組み
伊藤 智子 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)
- P5-39 ホスピス病棟での患者との関りが看護師にもたらした変化
～一般病棟からホスピス病棟へ異動して3年未満の看護師へのインタビュー調査～
山口 孝志 (宗教法人 聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院)
- P5-40 緩和ケア病棟への非がん患者入棟とケアの報告
齊藤 英一 (東京都健康長寿医療センター)
- P5-41 緩和ケア病棟へ入院紹介した前医から処方された向精神薬とオピオイド使用状況の後ろ向き研究
松田 良信 (市立芦屋病院)
- P5-42 終末期治療抵抗性低血糖をきたした3例に対しての血糖維持療法継続についての検討
高田 一哉 (平和病院 緩和ケア内科)
- P5-43 緩和ケア病棟の入院受け入れを、在宅医からの要請に応じた即日緊急入院から、原則待機入院へと変更した後の病棟運用の評価
佐野 広美 (埼玉協同病院 緩和ケア内科)
- P5-44 地域医療における当院緩和ケア病棟の役割と課題の検討
浦川 雅己 (深谷赤十字病院 緩和ケア外科)
- P5-45 日本バプテスト病院ホスピスにおけるボランティア活動
～COVID-19流行下における新たなボランティア活動の模索～
山極 哲也 (日本バプテスト病院 ホスピス)
- P5-46 コロナ禍における緩和ケア病棟での家族ケア～患者アルバム作成の取り組み～
羽多野 裕 (第二協立病院)
- P5-47 完全独立型ホスピス病院における臨末期基準作成の意義と有用性
大賀 丈史 (公立八女総合病院企業団 みどりの杜病院)
- P5-48 緩和ケア病棟におけるプライマリーナーシングの実態調査
西山 恵理佳 (高岡市民病院)

緩和ケアチーム (P5-49~P5-75)
6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-49 終末期患者にコンフォート理論を用いて希望へ繋げた一事例
三宅 和子 (水島協同病院 看護部、地域連携・患者サポートセンター)
- P5-50 がん患者のせん妄に対してプロナセリン貼付剤が奏功し、在宅医療への移行が可能となった1例
高橋 彩子 (昭和大学病院緩和医療科)
- P5-51 急性期病院における緩和ケアチームの活動と今後の課題
遠藤 慶太 (東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科)
- P5-52 当院緩和ケア病棟におけるオピオイドの使用実態調査
赤嶺 彩子 (沖縄赤十字病院 薬剤部)

- P5-53** 緩和治療中に結核を発病し結核病棟に入院した肝細胞がん患者へ緩和ケアチームが、1年間継続して介入した1例
村山 朋美（独立行政法人 国立病院機構 東京病院 看護部、独立行政法人 国立病院機構 東京病院 緩和ケアチーム）
- P5-54** 市中の透析病院における緩和ケア・チームの活動
古賀 俊充（新生会第一病院 腎臓内科）
- P5-55** がん専門病院における症例カンファレンスの内容分析
佐々木 千幸（国立がん研究センター中央病院 看護部）
- P5-56** 消化器外科医主導による緩和ケアチームの立ち上げ
青山 紘希（新東京病院 消化器外科 看護部 薬剤部 診療看護部）
- P5-57** 緩和ケアチームの継続した関わりによりニボルマブによる免疫介在性有害事象と判断できた一事例
川畑 恵（勤医協中央病院 緩和ケアチーム）
- P5-58** 医療依存度が高く、介護力が脆弱な患者・家族に対し多職種連携により最期まで子供と過ごすことができた一例
近藤 夏真（埼玉医科大学国際医療センター 緩和ケアチーム）
- P5-59** 多職種で患者・家族の意向を経時的に把握できるACP記録用紙の活用に関する一考察
四家 智恵（独立行政法人労働者健康安全機構福島労災病院）
- P5-60** 緩和ケア病棟を有する当院緩和ケアチームの活動状況と今後の課題
的井 徳子（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）
- P5-61** 入院中、レスキュードーズ自己管理促進の取り組み
泊 由布子（国立病院機構九州がんセンター）
- P5-62** 院外メンバー含む緩和ケアチームでの介入事例報告
長谷川 豊則（総合上飯田第一病院、このみ薬局 森下店）
- P5-63** 緩和ケアチームと病棟スタッフ間の緩和ケアにおける苦痛と問題点に対する認知の乖離
森北 辰馬（済生会熊本病院 集学的がん診療センター 総合腫瘍科）
- P5-64** がん専門病院を受診したがん患者の療養場所と死亡確認場所の実態調査
吉川 恵（愛知県がんセンター看護部、愛知県がんセンター緩和ケアセンター）
- P5-65** 緩和ケアチームが介入したがん治療前にBSCとなった患者の転帰から今後の活動を考える
千田 操（東京慈恵会医科大学附属柏病院 緩和ケアチーム、看護部）
- P5-66** 緩和ケアチームにおける実働医師の長期休暇がチーム活動に与える影響の検討
市川 優美（県立広島病院 緩和ケアチーム、県立広島病院 緩和ケア科）
- P5-67** 当院における症状緩和（緩和ケア）チームの活動状況並びに今後の課題
山崎 章生（日本赤十字社 福岡赤十字病院）
- P5-68** COVID-19専門病棟と緩和ケアチーム（病棟）と連携について考える
～COVID-19に罹患したがん終末期患者の看取りの経験から～
真上 美千子（公益社団法人鹿児島共済会 南風病院 緩和ケアチーム）
- P5-69** 急性期病院における緩和ケアチームの活動評価
高橋 愛子（独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター）
- P5-70** 急性期病院での緩和ケアチームが病棟看護師と行う薬剤管理に対する情報共有方法の改善結果
松波 称子（岐阜大学医学部附属病院 がんセンター）
- P5-71** 妻の死去後、抑うつ状態が続いたがん患者へのサポートに難渋した一例
京林 裕美（社会医療法人仙人養会 北摂総合病院）
- P5-72** 高度急性期病院の緩和ケアチームにおける鍼灸師の活動報告
山中 一星（東海大学 医学部 専門診療学系漢方医学、東海大学医学部付属病院 診療技術部 診療技術科）
- P5-73** 緩和ケアチームからがんサポートチームとなって活動の変更をおこなって-
吉野 和穂（小田原市立病院 緩和ケア科、小田原市立病院 がんサポートチーム）
- P5-74** 緩和ケアチーム診療規模と患者転帰（院内死亡、退院時ADL低下の有無、せん妄発症）との関連
-DPCデータベースを用いた過去起点コホート研究-
阿部 博昭（東京大学 医学部附属病院 緩和ケア診療部）
- P5-75** コロナ禍における緩和ケアチーム活動
白木 照夫（国立病院機構岩国医療センター）

**緩和ケア外来
(P5-76～P5-83)** 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-76** コロナ禍が助長する患者や家族の怒り、悲嘆について
加藤 博美（公益社団法人鹿児島共済会南風病院 緩和ケア内科）
- P5-77** 当院緩和ケア外来におけるIPOS（Integrated Palliative care Outcome Scale）使用の現状報告
吉田 園美（伊那中央病院）
- P5-78** 緩和ケア内科外来受診患者の看取りの場所について、コロナ前後の比較の含めての報告
仁熊 敬枝（香川県立中央病院 緩和ケア内科）
- P5-79** 当院緩和ケア内科外来でのリハビリテーションの介入
林 知代（済生会小樽病院 リハビリテーション室 作業療法課）
- P5-80** コロナ禍での緩和ケア外来から在宅療養移行時に医療ソーシャルワーカーに求められる役割の変化
福澤 公美（札幌清田病院 緩和ケア医療センター 地域医療連携室、同 緩和ケア科・麻酔科、同 緩和ケア内科）
- P5-81** A病院における緩和ケア外来の活動と今後の課題
屋比久 倫子（沖縄県立八重山病院 看護部）
- P5-82** がん専門病院の緩和ケア外来を受診した患者の介護保険利用に関する実態調査
松本 幸絵（地方独立行政法人栃木県立がんセンター）
- P5-83** 患者療養希望を緩和ケア外来から継続的に支援する
～緩和ケア病棟と訪問診療部門を有する病院における緩和ケア外来患者の検討～
大澤 岳史（王子生協病院 緩和ケア科）

**苦痛スクリーニング
(P5-84～P5-92)** 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-84** 当院での苦痛のスクリーニング導入後1年目と2年目の比較
-緩和ケアチームの介入を希望したが介入に至らなかった患者の検討-
今井 洋子（前橋赤十字病院 緩和ケアチーム）
- P5-85** 「苦痛のスクリーニング導入への取り組み」～院内全体拡充 奮闘記～
中嶋 君枝（山梨大学医学部附属病院 看護部、山梨大学医学部附属病院 医療チームセンター）
- P5-86** 緩和ケアチームへの依頼時期に関する職員の認識調査 ～生活のしやすさに関する質問票を通して～
坂村 珠里（東京都立墨東病院 看護部）
- P5-87** 入院がん患者の苦痛スクリーニングを活用した看護支援につなげる専従看護師の活動報告
石村 愛（関西電力病院）
- P5-88** 全患者対象に苦痛スクリーニング継続的実施している一医療機関における現状調査
井本 俊子（公立学校共済組合 関東中央病院 緩和ケアチーム）
- P5-89** 「生活のしやすさに関する質問票」を用いた緩和ケアチーム介入の変化
瀬戸 ひとみ（伊勢原協同病院 緩和ケアチーム）
- P5-90** 苦痛のスクリーニングによる基本的緩和ケアの評価
奥澤 直美（独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター）
- P5-91** 血液内科病棟の苦痛スクリーニングに関する実態調査
山地 敦子（市立伊丹病院 5階東病棟 血液内科）
- P5-92** 入院前支援センターによる緩和ケアニーズ評価の検討
中村 真理（神戸市立西神戸医療センター 緩和ケアセンター）

**早期からの緩和ケア
(P5-93～P5-101)** 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-93** 早期からのアドバンス・ケア・プランニング（ACP）と集学的治療によりQOLを維持できたII型進行子宮体癌の1例
黒星 晴夫（京都府立医科大学附属北部医療センター）

- P5-94 **在宅緩和ケア目的に紹介後短期間で永眠された事例報告**
加藤 薫 (かとう内科並木通り診療所)
- P5-95 **当施設における緩和ケアチーム介入開始時のオピオイド導入の有無の検討**
鈴木 瑛介 (東京医科大学病院 緩和医療部)
- P5-96 **がん薬物療法中における終末期ケアに関する話し合いのあり方の検討**
濱田 陽子 (石巻赤十字病院 緩和ケアセンター)
- P5-97 **子どものために生きたいと願った予後不良の若年直腸がん患者に診断早期から緩和ケアチームが介入した一事例**
大迫 浩子 (鹿児島市立病院)
- P5-98 **進行がん患者と家族に対するAYAサポートチームの告知時からの支援**
吉見 千絵 (大分県立病院)
- P5-99 **認定看護師が「がん告知に同席すること」の医師からの評価を明らかにするプロセス**
江頭 佐都美 (市立芦屋病院 看護局)
- P5-100 **地域がん診療連携拠点病院でがん診療に携わる医師の基本的緩和ケア実践に関する認識と困難感**
福井 由紀子 (地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院)
- P5-101 **当院でアドバンスケアプランニング支援を行った小細胞肺癌症例の後方視的検討**
渡辺 温子 (北里大学病院 呼吸器内科)

その他の終末期ケア、デリバリー (P5-102~P5-115) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P5-102 **乳癌終末期入院時に付き添い許可したことで遺族満足度が非常に高まった1例**
武知 浩和 (四国中央病院 乳腺内分泌外科)
- P5-103 **がん診療連携拠点病院以外の中小規模病院に勤務する看護師において、終末期がん患者と家族への看護に対し困難に感じること：日記式質問紙調査の自由回答の内容分析**
今 方美 (金沢文庫病院)
- P5-104 **当院緩和ケア病棟入院がん患者に対する理学療法士介入の適応と有用性の検討**
信谷 健太郎 (医療社会法人 美杉会 男山病院)
- P5-105 **看取り症例における在宅看取りの忍容性を高める要因の分析**
真船 太一 (医療社団法人 平部会 みんなの日立クリニック)
- P5-106 **コロナ禍における消化器系がん終末期患者の最期の療養場所の選択について～コロナ禍によって何が変化したか、当院での現状について～**
金生 睦子 (香川労災病院 看護部)
- P5-107 **緩和ケアセンターに相談のあった「がん認知症」に関する相談内容の分析**
小田原 めぐみ (JA尾道総合病院 緩和ケアセンター、JA尾道総合病院 緩和ケアチーム、JA尾道総合病院 看護科)
- P5-108 **緩和ケア病棟における終末期大腸癌患者のコリンエステラーゼの2相性変化と在院生存率推定のバイオマーカーとしてコリンエステラーゼカットオフ値100IU/mlの有用性**
馬見塚 勝郎 (鹿児島市医師会病院 緩和ケア科)
- P5-109 **急性期病院に勤務する看護師がデスクファンレンスを経験することで抱いた思い**
田部井 さつき (伊勢崎市民病院 看護部)
- P5-110 **終末期がん患者と看護師のパートナーシップのプロセス-マargレット・ニューマンの看護理論の実践-**
小林 由香 (茨城県立中央病院・地域がんセンター)
- P5-111 **長期入院の重度認知症患者の死亡3ヵ月前からの臨床経過**
田原 一樹 (山の辺病院 内科)
- P5-112 **重度認知症患者の死亡1週間前からの症状、対処法についての検討**
田原 一樹 (山の辺病院 内科)
- P5-113 **緩和ケア病棟での透析患者受け入れのためのシステム構築**
高橋 尚子 (日本赤十字社医療センター 緩和ケア科)
- P5-114 **患者の事前指示書に従い、人工呼吸器の使用を停止した筋萎縮性側索硬化症終末期の症例**
白石 渉 (小倉記念病院 脳神経内科)

- P5-115 **終末期AYA世代がん患者の一時帰宅を叶えた一例～ヤングケアラーを支える多職種連携～**
田上 千佳子 (千葉県立 佐原病院)

卒前教育 (P6-1~P6-4) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-1 **終末期についての話し合いに関する医学生へのアンケート調査**
山木 照子 (滋賀医科大学 医学部 社会医学講座)
- P6-2 **緩和医療学における医学科1年生を対象とした早期臨床体験実習の実践報告**
津田 万里 (東海大学 医学部 専門診療学系 緩和医療学)
- P6-3 **医学部学生に対する卒前教育としてのエンドオブライフ・ケア研修の可能性**
宇田 真記 (医療法人清友会 清水医院)
- P6-4 **座学・ビデオ・ロールプレイを用いた看取りの学生教育に、事前動画学習を用いて教員の対面指導時間を短縮した際の困難感の改善効果を比較検討した研究**
田中 幸介 (国際医療福祉大学成田病院 緩和医療科/消化器内科)

教育方法 (P6-5~P6-9) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-5 **離島におけるCOVID-19感染拡大時に、開催7日前に対面からwebに変更した緩和ケア研修会開催の経験・鹿児島県奄美大島の場合**
大木 浩 (鹿児島県立大島病院)
- P6-6 **A高等学校における悪性新生物(がん)に関する意識調査**
山瀬 勝巳 (金城大学 看護学部 看護学科)
- P6-7 **小児がん患者の痛みに対する看護についての実態調査：全国調査の結果から**
木須 彩 (国立成育医療研究センター 看護部)
- P6-8 **緩和ケア病棟における初めての新人看護師指導～入職から夜勤見習いまでを振り返る～**
富川 将史 (社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院)
- P6-9 **多施設合同web抄読会「かながわ緩和ジャーナルクラブ」の活動報告**
木村 尚子 (済生会横浜市南部病院 緩和医療科)

卒後教育 (P6-10~P6-15) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-10 **我が国の緩和医療における外科医の現状についての文献的考察**
奥本 龍夫 (宝塚市立病院 緩和ケア内科)
- P6-11 **臨床研修2年目医師のがんサロン参加後の意識調査**
岡山 浩子 (熊本労災病院 看護部)
- P6-12 **ELNEC-J小児緩和ケアカリキュラム看護師教育プログラムが小児緩和ケアの実践に及ぼす効果の検証**
名古屋 祐子 (宮城大学 看護学群 小児看護学領域)
- P6-13 **緩和領域を専門としない専攻医に対する卒後教育として、コーチング・スキルを用いて自己学習を支援する試み**
井上 直也 (関西電力病院 緩和医療科)
- P6-14 **ELNEC-J小児緩和ケアカリキュラム看護師教育プログラムの開催と内容評価**
松岡 真里 (三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻)
- P6-15 **認知症高齢がん患者に対する疼痛マネジメント看護師用教育プログラムの開発と評価**
川村 三希子 (札幌市立大学 看護学部)

施設内教育 (P6-16～P6-20) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-16** ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの院内開催の効果と今後の課題
～看護師以外の職種へ参加を拡大して～
吉田 奈美江 (社会医療法人 社団 カレスサポロ 時計台記念病院)
- P6-17** 当院における注射麻薬希釈セットオーダーの作成と、運用前後におけるインシデント・アクシデントについての検証
平川 麻美 (聖マリアンナ医科大学 緩和医療学講座)
- P6-18** がん専門病院におけるOPTIM「これからの過ごし方について」のパンフレットの使用に向けた教育の効果
山崎 光英 (国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 看護部)
- P6-19** コロナ禍でのACP劇創研修 ～劇団員募集からDVD視聴研修まで～
竹下 祐矢 (大田市立病院 リハビリテーション技術科)
- P6-20** 院内の研修医に対する緩和ケア研修へのPCT薬剤師による関わり
堀江 達夫 (大田市立病院 薬剤科)

市民・患者への啓発 (P6-21～P6-24) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-21** ユニバーサル・ホスピスマインドを社会実装する試み
～コンパッション都市実現に向けて、ワークスコープとエンドオブライフ・ケア協会のコラボレーション～
小澤 竹俊 (エンドオブライフ・ケア協会)
- P6-22** 子どもへのがん教育—予防事業として計画した1年の報告—
濱中 裕子 (堺市立総合医療センター 緩和ケアセンター、堺市立総合医療センター 疾病予防管理センター、堺市立総合医療センター 看護局)
- P6-23** H市に住む高齢者の希望する最期の療養場所および緩和ケアに関する意識調査
佐々木 里美 (八幡平市立病院)
- P6-24** 人生会議のきっかけをカードゲームで導いた地域住民に対する普及啓発活動
平松 祐貴子 (稲沢市民病院 ACPチーム)

コミュニケーション (P6-25～P6-26) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-25** 緩和ケア病棟での病理解剖
宮本 信吾 (日本赤十字社医療センター)
- P6-26** 緩和ケア病棟における独自企画CST研修会の取り組み
松長 成美 (厚生連高岡病院 緩和ケアセンター)

アドバンス・ケア・プランニング、意思決定 (P6-27～P6-64) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-27** アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の話し合いのプロセスの見える化と共有
太良 哲彦 (社会医療法人博愛会 相良病院 腫瘍内科)
- P6-28** あるがん患者とその家族への意思決定支援を通して学んだこと
松本 由美子 (日本医科大学多摩永山病院)
- P6-29** 本人の「する」選択と「しない」選択を医療チームで支持したICUの2症例
古賀 美佳 (佐賀県医療センター好生館 集中治療部)
- P6-30** 終末期がん患者の療養場所の意思決定支援の一考察～患者と医療者の信頼関係形成を認識した関わり～
棚原 陽子 (琉球大学病院 看護部)
- P6-31** 当院におけるアドバンス・ケア・プランニングの実践に向けた取り組み
萬徳 孝子 (岩手医科大学附属病院 看護部)

- P6-32** 壮年期にあるがん患者のACPを支えるために必要な医療者のスキル
吉田 こずえ (宝塚市立病院 がん診療支援センター)
- P6-33** がん患者のアドバンス・ケア・プランニングを行なう際に看護師が抱える困難
松尾 恵子 (日本赤十字社和歌山医療センター 緩和ケアセンター)
- P6-34** 自院作成パンフレットを用いた緩和ケア外来におけるアドバンス・ケア・プランニングの取り組み
譜久山 仁 (医療法人社団 医仁会 ふくやま病院 緩和ケア外科)
- P6-35** A病院における医師、看護師のACPに関する実践状況と認識の実態調査
杉江 礼子 (市立大津市民病院 患者相談支援室)
- P6-36** 状態悪化後に緩和ケア病棟から緊急退院となった症例から探る～看取りの場の意思決定について～
森 直美 (医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院)
- P6-37** がん治療と内縁介護による葛藤と関係性の変化～ ACPと多職種による思いのリレー～
山本 直美 (若草第一病院 看護部)
- P6-38** ACP推進に向けたパンフレット運用開始後の看護師のACPに対する意識
谷口 香織 (大阪赤十字病院 看護部)
- P6-39** 地域包括ケア病棟に勤務する看護師のACPに関する調査
草間 泰子 (済生会 広島病院)
- P6-40** 緩和ケア病棟入院後に標準手術を行い良好なQOLを得た2症例
中村 俊彦 (公立学校共済組合 九州中央病院)
- P6-41** ろう者へのアドバンスケアプランニングの啓発活動
—在宅看取りをテーマとした映画の上映と「人生会議」体験カード(みんらぼカード™)を通して
—
綱引 奈苗 (岩手県立中部病院 緩和医療科、東北大学病院 緩和医療科、一般社団法人 みんなの健康らぼ)
- P6-42** 岐阜県の新DNARプロトコルの適応 実際の事例から検討する救急の現場におけるACP
楠澤 佳悟 (高山赤十字病院)
- P6-43** 緩和ケア外来初診患者・家族の緩和ケアに対する認識と受診を通じた認識の変化についての調査
沖政 盛治 (医療法人 JR広島病院 緩和ケア内科)
- P6-44** 当院緩和ケアリンクナースによるACPの課題と取り組み
正井 志穂 (神戸市立西神戸医療センター 緩和ケアセンター)
- P6-45** 進行卵巣癌患者の緩和的人工肛門造設術の施行について精神的ケアを含めた意思決定支援を行った1例
西土 徹 (豊川市民病院 緩和ケアチーム)
- P6-46** 地域がん診療連携拠点病院に通院する患者とその家族のアドバンスケアプランニング・人生会議に関する実態調査
屋比久 夏生 (地方独立行政法人 那覇市立病院)
- P6-47** 急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング周知に向けた4年間のプロセス
赤地 桂子 (埼玉県済生会川口総合病院 ACPプロジェクト)
- P6-48** がん患者のADL曲線を用いたadvanced care planning・意思決定支援に基づいた終末期後期の療養についての検討
則行 敏生 (尾道総合病院 緩和ケアセンター)
- P6-49** がん患者の意思決定支援アプリのfeasibility study
川崎 優子 (兵庫県立大学看護学部)
- P6-50** アドバンス・ケア・プランニング導入に向けた婦人科・乳腺外科病棟での取り組み
倉内 梨樺 (熊本大学病院)
- P6-51** 小児心不全患者に対する緩和ケアにおいて患者・家族の思いを知るためにIPOSを用いた事例報告
藤澤 佑太 (大阪母子医療センター)
- P6-52** 認知機能が低下した下顎歯肉癌患者の意思決定を主科と周術期管理チームが連携して支援した一症例
山本 花子 (島根大学医学部附属病院麻酔科)
- P6-53** A病院職員的人生最終段階における意思決定支援に関する意識調査
渡辺 陽子 (尾道市立市民病院 緩和ケアチーム)
- P6-54** 当院におけるACPの意識調査から見えてきた課題
河野 恵 (医療法人春秋会城山病院)

- P6-55 **在宅患者に対する電子的患者情報アウトカム (ePRO) を用いたAdvance Care Planningモデルの開発に向けた課題**
椿 美智博 (北里大学 看護学部 臨床看護学)
- P6-56 **緩和ケア病棟を併設する高度急性期病院におけるアドバンス・ケア・プランニング (ACP) の現状と課題**
平野 美枝子 (日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第一病院)
- P6-57 **大学病院の特性に応じた適切な意思決定支援体制整備に向けた取り組み**
高野 智早 (福井大学医学部附属病院 がん診療推進センター、福井大学医学部附属病院 看護部)
- P6-58 **延命処置を望まない筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者のアドバンス・ケア・プランニング (ACP) を経験して**
川 二美 (医療法人社団 いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケアチーム)
- P6-59 **手術を拒否する認知症患者の意思決定支援に関する臨床倫理カンファレンスを行った一例報告**
日下部 明彦 (横浜市立大学附属病院 臨床倫理コンサルテーションチーム、横浜市立大学 総合診療医学、横浜市立大学附属病院 緩和ケアセンター、横浜市立大学附属病院 患者サポートセンター)
- P6-60 **緩和ケア病棟におけるACP推進への取り組み**
渡部 真江 (松江市立病院)
- P6-61 **当院におけるアドバンスケアプランニング (ACP) の取り組み**
佐藤 尚子 (岡崎市民病院)
- P6-62 **がん患者へのアドバンス・ケア・プランニングを行う上でリンクナースが感じる障壁**
石徹白 しのぶ (和歌山県立医科大学大学院 保健看護学研究科、和歌山県立医科大学附属病院)
- P6-63 **行動経済学を応用した緩和医療における意志決定ワークショップの作製**
清水 広久 (埼玉成恵会病院 外科)
- P6-64 **A訪問看護ステーションでのACPへの取り組み 大阪府ACP啓発資料「だから今、人生会議」を用いて**
野口 忍 (社会医療法人 仙養会 北摂総合病院)

多職種協働・チーム医療 (P6-65~P6-81) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-65 **積極的治療から症状緩和中心の医療に移行する患者の支援体制の強化~がん看護外来における取り組み~**
坂本 理恵 (国家公務員連合会 横須賀共済病院)
- P6-66 **外来栄養スクリーニングの取り組み~多職種によるがん悪液質へのアプローチ~**
熱方 智和子 (聖マリアンナ医科大学病院 看護部 腫瘍センター)
- P6-67 **当院における骨転移コンサルテーションシステムの試み**
友杉 隆宏 (九州労災病院外科、九州労災病院緩和ケアチーム)
- P6-68 **機械学習とシミュレーションを用いたがん緩和ケアチーム活動の特徴量 : ICE-S4**
嶋田 和貴 (京都大学 医学部 附属病院 緩和医療科)
- P6-69 **解離性障害のあるがん患者の多彩な身体症状に対して地域と連携し多職種で関わった1事例**
小松 智子 (市立札幌病院 看護部看護課)
- P6-70 **APS (Acute Pain Service) チーム : チーム活動内容とグラニセトロンの有効性の報告**
田中 俊行 (高崎総合医療センター)
- P6-71 **患者本位の価値観から最善の治療選択ができたと考えられた乳がん・肺がん合併の一例 ~あらためて多職種カンファレンスの重要性~**
若山 尚士 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 がん診療推進センター、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 緩和ケアチーム、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 呼吸器内科)
- P6-72 **外来から在宅へのシームレスな地域連携~アンケート調査から見えてきたもの~**
佐藤 恵里菜 (若草第一病院 看護部)
- P6-73 **がん悪液質への多職種ケアに対する認識と実践についての全国調査のサブグループ解析 - 医師と看護師における専門領域での比較 -**
荒川 さやか (国立がん研究センター中央病院 緩和医療科)

- P6-74 **大学病院の外来看護師による患者の苦痛緩和に向けた院内リソースとの連携状況**
早川 満利子 (東京医科歯科大学病院)
- P6-75 **がん悪液質への多職種ケアに対する認識と実践についての全国調査のサブグループ解析 -がん悪液質ケアで役割を果たしているという管理栄養士の認識に関連する因子-**
腰本 さおり (東京家政学院大学 人間栄養学 人間栄養学科、東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科)
- P6-76 **急性期病院の外来患者が直面するがん疼痛の緩和と増悪のプロセス : 質的研究**
日向 美羽 (昭和大学 横浜市北部病院 病院薬剤学講座)
- P6-77 **AYA世代 (高校3年生) の進行胃がん患者の就労・両立支援 ~就職試験を控えた術前術後から就職後 (人工肛門造設に伴う職場環境の調整) までの支援~**
岡山 浩子 (熊本労災病院 看護部)
- P6-78 **A施設におけるAYAサポートチームの活動報告**
吉見 千絵 (大分県立病院)
- P6-79 **神奈川県立子ども医療センター緩和ケア普及室10年の歩み**
堀木 としみ (神奈川県立子ども医療センター緩和ケア普及室)
- P6-80 **A施設におけるAYA世代のがん登録や支援実態に基づいたAYAサポートチームの検討**
菅原 真由美 (大分県立病院)
- P6-81 **急性期病院で看取りを行った症例における終末期がんリハビリテーションの検討**
石田 ゆず (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門、信州大学医学部附属病院 リハビリテーション科)

医療者のストレス・燃え尽き症候群 (P6-82~P6-84) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-82 **看護リフレクションによる看護師の内面的変化**
竹内 美保 (公立 西知多総合病院)
- P6-83 **緩和ケアチームカンファレンスに取り入れたスタッフケアとしての「セルフケアタイム」の意義**
和泉 典子 (鶴岡市立荘内病院 緩和ケアチーム、鶴岡市立荘内病院 内科)
- P6-84 **一般病棟、緩和ケア病棟、訪問看護における看護師の共感満足の比較と関連因子の探索**
東端 孝博 (筑波大学附属病院 緩和支援治療科)

倫理的問題 (P6-85~P6-89) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-85 **患者が病状告知を拒否したことで治療や療養の方針決定に苦慮したがん末期の一例**
井村 峻暢 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 総合診療部)
- P6-86 **急性期病棟の主任看護師ががん患者の意思決定支援で行動モデルを示した一事例**
霜鳥 暁子 (新潟県済生会三条病院)
- P6-87 **倫理カンファレンスに向けた段階的取り組みと看護師の変化**
木下 直美 (飯田病院 看護部)
- P6-89 **パンデミック前後で臨床倫理チームに対するニーズは変化するか? ~当院の臨床倫理チームの活動の軌跡と省察~**
芝 祐信 (地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立荏原病院)

概念・歴史、文化(culture)の問題、死生学・死生観・哲学 (P6-90) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

- P6-90 **がん闘病記にみるレジリエンス**
門林 道子 (日本女子大学 人間社会学部)

制度設計・政策・費用対効果 (P6-91) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P6-91 在宅緩和ケアクリニックにおける経営学的分析
平本 秀二 (ピースホームケアクリニック)

研究方法 (P6-92) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P6-92 国際的QOL尺度開発へ参加するための施設内体制整備
石木 寛人 (国立がん研究センター中央病院)

評価尺度 (P6-93~P6-94) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P6-93 緩和ケアチームにおけるIPOS (Integrated Palliative care Outcome Scale) 使用することにより期待されること
東影 春花 (神戸学院大学 薬学部)

P6-94 エンド・オブ・ライフ・ケアに関する看護実践を測定するための尺度の開発
笹原 朋代 (東京女子医科大学看護学部)

その他の教育・啓発・研究 (P6-95~P6-113) 6月30日(金)13:35-14:35
7月1日(土)13:20-14:20
ポスター会場

P6-95 病棟専任入院支援看護師の活動報告
松本 由美子 (日本医科大学多摩永山病院)

P6-96 がんゲノム医療を提供する機能を有する医療機関以外の中小規模病院における、がんゲノム医療に対する看護師の認識に関する実態調査
菅野 雄介 (東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野)

P6-97 がん患者のせん妄に対する看護支援についてのスコーピングレビュー：Evidence Practice (EP) -GAP Group Study
菅野 雄介 (東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 在宅・緩和ケア看護学分野)

P6-98 緩和ケアにおける鍼灸師の役割を考える会の「対話の場」としての意義
一参加者同士の対話内容と自由記述アンケートの結果から
高梨 知揚 (東京有明医療大学 保健医療学部 鍼灸学科)

P6-99 当院のオピオイド鎮痛薬処方に関するインシデント報告の検討
下田 由季子 (国立がん研究センター 中央病院 呼吸器内科)

P6-100 がん患者の便秘に対する看護支援についてのスコーピングレビュー：Evidence practice (EP) -GAP Group Study
中野 貴美子 (大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻)

P6-101 1200床を超える院内でのオピオイドの適正使用管理～オピオイド回診～
福德 花菜 (九州大学病院 がんセンター 緩和ケアチーム)

P6-102 緩和ケア研修会「がん患者等への支援」の企画者からみた「がんの病いの語り」の評価
木村 恵美子 (札幌医科大学 保健医療学部)

P6-103 ビジネスインテリジェンスツール (Microsoft Power BI®) を用いたCOVID-19パンデミック前後の診療状況の分析
橋本 孝太郎 (医療法人社団爽秋会 ふくしま在宅緩和ケアクリニック)

P6-104 当院のエンゼルケアに対するスタッフの思いの分析と業務改善
白砂 麻里 (医療法人徳洲会 白根徳洲会病院)

P6-105 地域の学校におけるがん教育の実施
徳原 真 (東海大学 医学部 緩和医療学)

P6-106 当院緩和ケアチーム介入患者に対する、リハビリテーションの要望調査
安原 寛和 (前橋赤十字病院)

P6-107 A県のがん診療連携拠点病院における看護師の緩和ケアに関する困難感の実態
西村 久美子 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

P6-108 がん患者の家族における介護負担に対する看護支援についてのスコーピングレビュー：Evidence Practice (EP) -GAP Group Study
小林 成光 (聖路加国際大学)

P6-109 がん患者の悪心・嘔吐に対する看護支援についてのスコーピングレビュー：Evidence Practice (EP) -GAP Group Study
小林 成光 (聖路加国際大学)

P6-110 がん患者の疼痛に対する看護支援についてのスコーピングレビュー：Evidence Practice (EP) -GAP Group Study
森川 みはる (おおたかの森こどもクリニック)

P6-111 香川大学医学部のJICA国別研修「全インド医科大学人材育成研修」におけるがん緩和ケア研修の取り組み
村上 あきつ (香川大学医学部附属病院 緩和ケアセンター、香川大学医学部附属病院 臨床腫瘍学講座)

P6-112 がん患者の療養場所の意思決定支援に必要な看護師の能力に関する文献レビュー
服部 あやの (中京学院大学 看護学部看護学科 (学生4年))

P6-113 兵庫県主催がん教育に関する講演会 (小学校) に講師として参加して
橋本 芳正 (洲本伊月病院 緩和ケアチーム)

PAL企画

PAL1 がん医療・ケアにおけるPatient and Public Involvement(患者市民参画)をPAL目線でさらに深めよう 6月30日(金)12:20-13:20
第9会場

座長：浦嶋 偉晃 (奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会)
渡邊 清高 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科)

演者：がん患者や家族はPPIIにどのように関わるべきか
天野 慎介 (一般社団法人全国がん患者団体連合会)

患者・市民参画の模擬的な体験にチャレンジ：論文を根拠に社会活動に参画してみよう
有賀 悦子 (帝京大学医学部緩和医療学講座)

PAL2 緩和ケアの課題と今後への期待～第4期がん対策推進基本計画から考える～ 7月1日(土)12:05-13:05
第9会場

座長：松本 陽子 (NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会)
青山 真帆 (東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)

演者：がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
前田 留里 (NPO法人京都ワーキング・サバイバー)

第4期がん対策推進基本計画における緩和ケア～AYA世代に関わる内容について～
樋口 麻衣子 (富山AYA世代がん患者会Colors代表、富山大学附属病院 看護部)

第4期都道府県がん対策推進計画への期待：「誰一人取り残さない」緩和ケアの実現を目指して
久村 和穂 (金沢医科大学医学部公衆衛生学、石川県がん安心生活サポートハウス)

PAL3 PAL退院前模擬カンファレンス～治療とケアのゴールを話し合ってみよう～ 7月1日(土)13:20-14:50
第9会場

司会：渡邊 清高 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科)

演者：井上 彰 (東北大学大学院医学系研究科)
森 一郎 (協立記念病院)

田上 恵太 (東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野、やまと在宅診療所登米、徳之島徳洲会病院 緩和ケアチーム)
 倉橋 美岬 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)
 富澤 あゆみ (エムツー訪問看護ステーション宮城野)
 品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター)

PALポスター

PAL-P

6月30日(金)14:50-15:30

ポスター会場

- PAL-P1 外部講師を用いた学校でのがん教育普及のため図書館から発信するがん教育～みんなのがん教室～**
 彦田 かな子 (がん哲学外来メディカルカフェ シャチホコ記念)
- PAL-P2 企業内がん経験者コミュニティが参画した当事者視点での「治療と就労の両立支援ガイドブック」について**
 村本 高史 (Can Stars)
- PAL-P3 リンパ浮腫セルフケアのオンラインプログラム「リンパラボ朝めぐリンパ」の構築～習慣づけは定期的な情報提供と患者間交流がつくる～**
 矢後 綾子 (認定NPO法人オレンジティ、目白大学看護学部)
- PAL-P4 がん遺族で10年間取組んできたグリーフケアサロン**
 福島 龍一 (りんどうの会 (がん遺族の会佐賀))

PAL-P

6月30日(金)16:00-16:40

ポスター会場

- PAL-P5 カウンセリングで難しかった相談が、ピアサポーターの言葉で就労意欲がでた一例**
 林田 信子 (特定非営利活動法人京都ワーキング・サバイバー)
- PAL-P6 がん患者支援活動に携わる人のための新たな人材育成プログラムの取り組み**
 竹内 香 (京都府がん患者団体等連絡協議会、NPO法人京都がん医療を考える会、放送大学)
- PAL-P7 コロナ禍における「雑談」と「スキンケア」を統合した患者サポートプログラムの実践と評価**
 内山 由紀 (認定NPO法人オレンジティ、埼玉県立大学)
- PAL-P8 がん患者・家族・遺族向けのがんサロンを地域に広げていく取り組み～多くの市民と医療者の参加を目指して～**
 岡田 雅代 (I FOR YOU Japan、日本ハーブセラピー協会)